

資料編

資料編

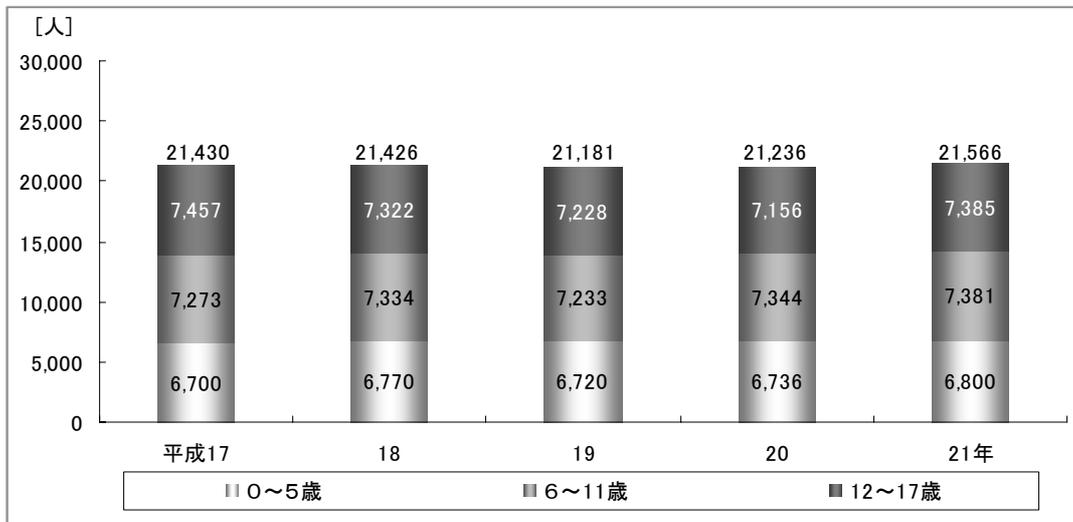
1. 子どもをとりまく現状

(1) 子ども人口

① 子ども人口の推移

本市の18歳未満人口は、平成21年で21,566人となっています。平成17年からの変化を見ると、平成19年まで減少した後、増加に転じています。年齢別に見ると、0～5歳、6～11歳は平成20年で、12～17歳は平成21年で減少から増加に転じています。

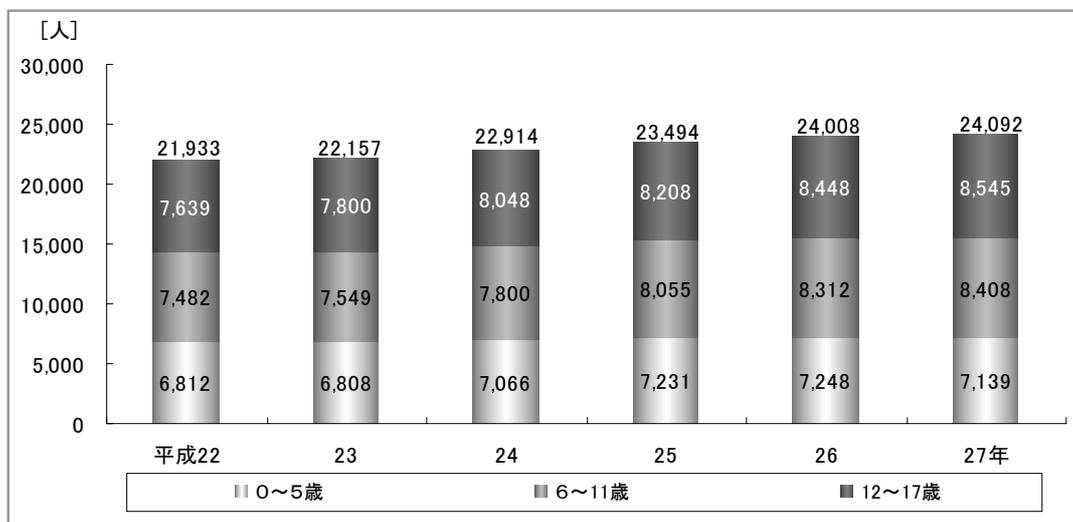
図表 1 18歳未満人口の推移



出典) 箕面市資料

18歳未満人口の将来推計は、平成22～27年にかけて増加するものと見込まれています。年齢別に見ると、0～5歳、6～11歳、12～17歳ともに、年々増加していますが、0～5歳のみ、平成27年から減少しています。

図表 2 18歳未満人口の将来推計

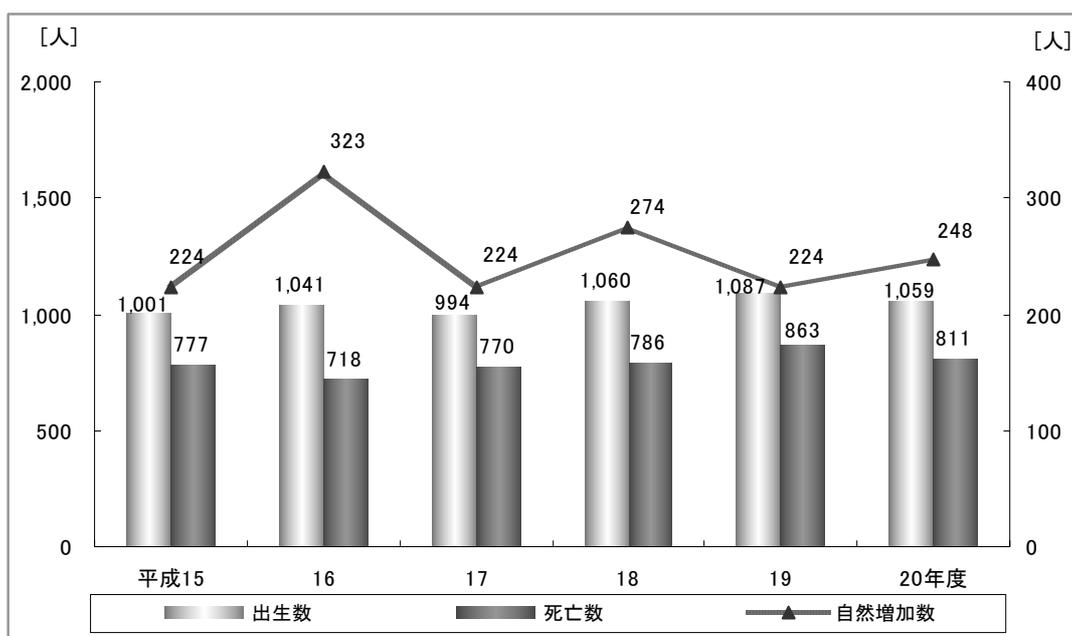


出典) 箕面市資料

② 人口動態の推移

本市の出生数は、平成20年度で1,059人、平成15年度からの変化を見ると1,000人前後で推移しています。死亡数は、平成20年度で811人、平成15年度からの変化を見ると、平成16年度にかけて一旦減少した後、増加に転じていますが、平成20年度に再び減少しています。自然増加数（出生数－死亡数）は、増減はあるものの、220～330人の間で推移しており、自然増の状態が続いています。

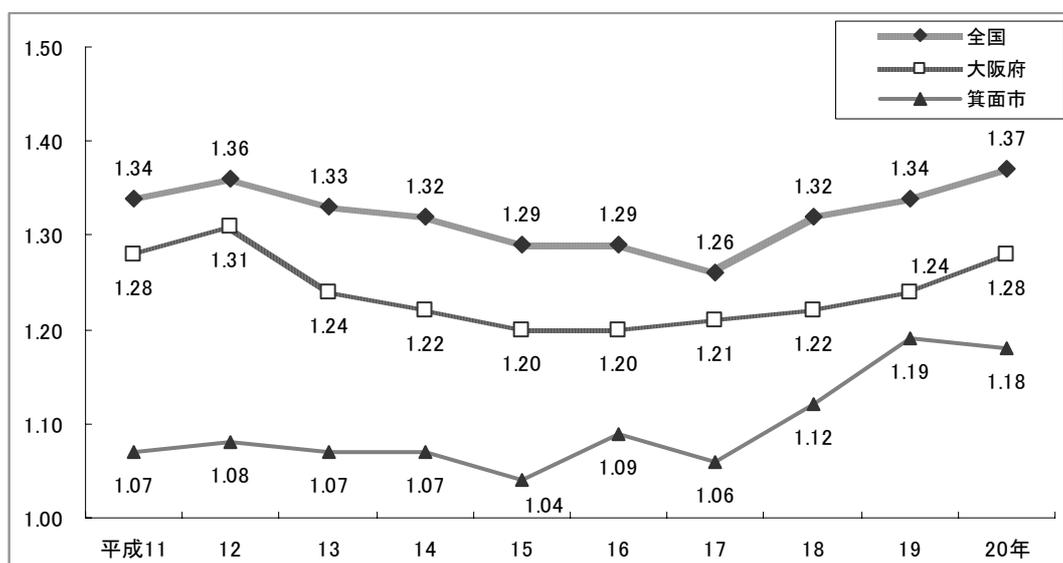
図表 3 出生数及び死亡数の推移



出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

本市の合計特殊出生率を見ると、平成20年で1.18となっています。全国や大阪府と比べて低い値となっていますが、平成11年からの変化を見ると、増減しているものの、平成17年以降は、全国や大阪府に比べて大きく増加しています。

図表 4 合計特殊出生率の推移



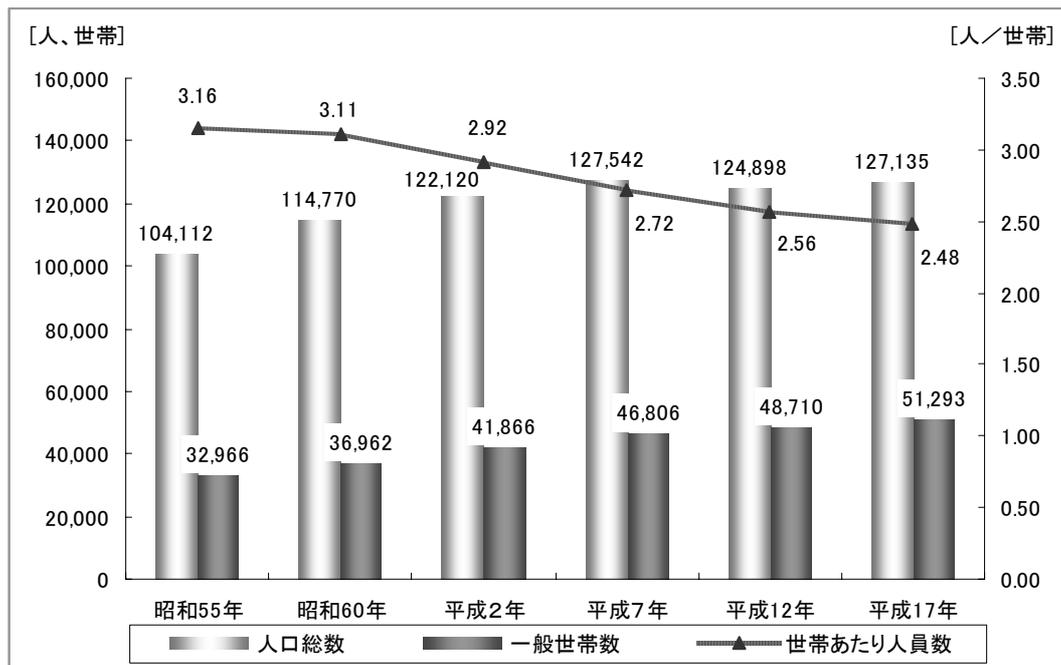
出典) 箕面市資料

(2) 子どもと家庭・地域

① 人口・世帯の変化

平成 17 年の国勢調査によると、本市の人口総数は 127,135 人、一般世帯数は 51,293 世帯となっています。昭和 55 年からの変化を見ると、一般世帯数は年々、増加しています。これに比べて、人口総数は緩やかな増加となっており、平成 12 年では一旦減少しています。これにより世帯あたりの人員数は、減少傾向にあり、平成 17 年の国勢調査によると、2.48 人/世帯となっています。

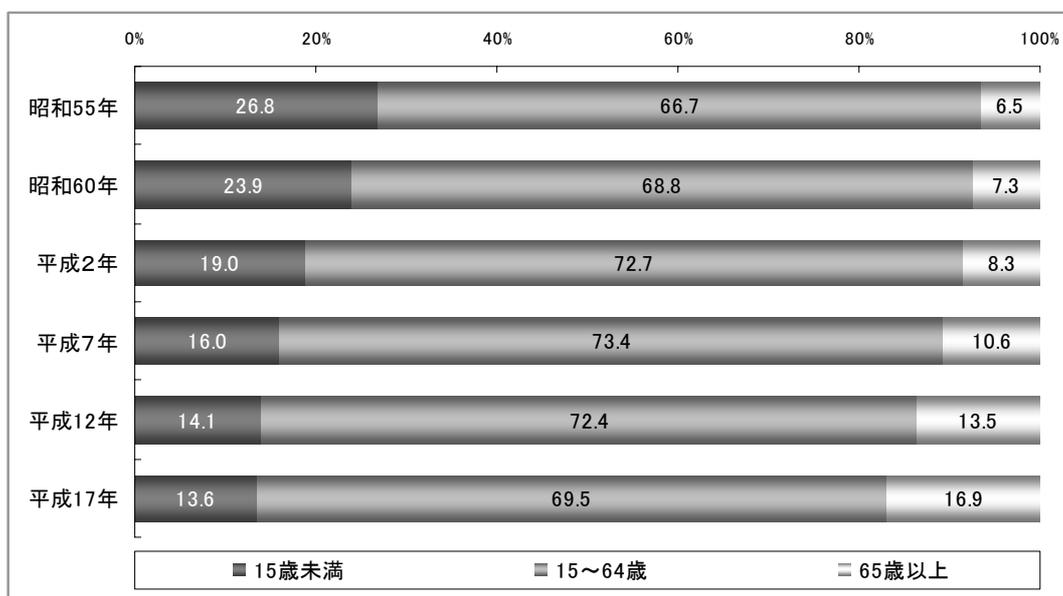
図表 5 人口総数、一般世帯数、世帯あたりの人員数の推移



出典) 総務省統計局;国勢調査, 昭和55~平成17年

本市の人口を、15歳未満（年少人口）、15～64歳（生産年齢人口）、65歳以上（高齢人口）の年齢3区分で見ると、年々、少子高齢化が進んでいることが分かります。国勢調査によると、年少人口の割合は低下、高齢人口の割合は上昇しており、平成17年には、高齢人口の割合が年少人口の割合を上回り、年少人口の割合13.6%、生産年齢人口の割合69.5%、高齢人口の割合16.9%となっています。

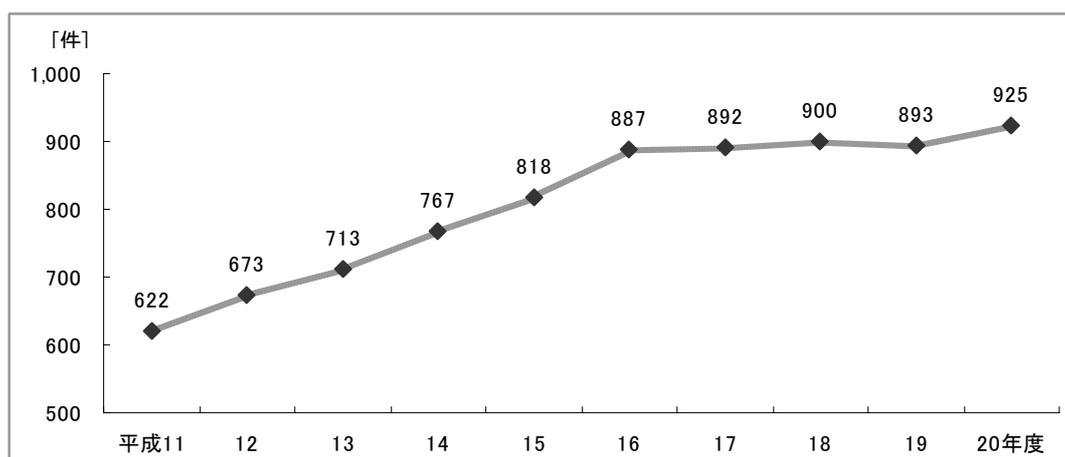
図表 6 年齢3区分別人口構成比の推移



出典) 総務省統計局;国勢調査, 昭和55年～平成17年

本市における児童扶養手当の受給件数を見ると、平成16年度までは年々増加した後、ほぼ横ばいとなっていました。平成20年度から再び増加となっています。

図表 7 児童扶養手当受給件数の推移



出典) 箕面市 子ども支援課

平成 17 年の国勢調査によると、本市の一般世帯 51,293 世帯のうち、6 歳未満の子どものいる世帯は 5,057 世帯で全体の 9.9%、うち、核家族世帯は全体の 9.1%となっています。また、18 歳未満の子どものいる世帯は 12,382 世帯で全体の 24.1%、うち、核家族世帯は全体の 21.8%となっており、6 歳未満の子どものいる世帯、18 歳未満の子どものいる世帯、ともに、大半が核家族世帯となっています。

平成 7～12 年の変化を見ると、一般世帯数の伸び率が 4.1%であるのに対し、6 歳未満の子どものいる世帯の伸び率は△10.4%、18 歳未満の子どものいる世帯の伸び率は△13.5%と大きく減少しています。平成 12～17 年にかけては、6 歳未満の子どものいる世帯の伸び率は 3.4%となっていますが、一般世帯数の伸び率 5.3%と比べると低くなっており、18 歳未満の子どものいる世帯の伸び率は△2.0%と減少しています。全体として、子どものいる世帯の割合が減少していることが分かります。

また、平成 12～17 年にかけて、6 歳未満の子どものいる世帯では、世帯数に比べて核家族世帯の伸び率が高くなっており、18 歳未満の子どものいる世帯では、世帯数に比べて核家族世帯の減少率が低くなっています。子どものいる世帯で核家族化が進んでいることが分かります。

図表 8 子どものいる世帯数（平成 7～17 年）

	平成 7 年		平成 12 年		平成 17 年		平成 7 年 →平成 12 年 の伸び率 [%]	平成 12 年 →平成 17 年 の伸び率 [%]
	実数 [世帯]	構成比 [%]	実数 [世帯]	構成比 [%]	実数 [世帯]	構成比 [%]		
一般世帯総数	46,806	100.0	48,710	100.0	51,293	100.0	4.1	5.3
6 歳未満の子どものいる世帯	5,460	11.7	4,890	10.0	5,057	9.9	△10.4	3.4
核家族世帯	4,938	10.5	4,452	9.1	4,685	9.1	△9.8	5.2
その他の親族世帯	522	1.1	438	0.9	372	0.7	△16.1	△15.1
18 歳未満の子どものいる世帯	14,618	31.2	12,638	25.9	12,382	24.1	△13.5	△2.0
核家族世帯	12,903	27.6	11,234	23.1	11,158	21.8	△12.9	△0.7
その他の親族世帯	1,706	3.6	1,394	2.9	1,214	2.4	△18.3	△12.9
非親族・単身世帯	9	0.0	10	0.0	10	0.0	11.1	0.0

出典) 総務省統計局; 国勢調査, 平成 7～17 年

子どものいる世帯の割合を、大阪府、全国と比べると、6 歳未満の子どものいる割合は、本市 9.9%、大阪府 10.2%、全国 10.5%、18 歳未満の子どものいる世帯の割合は、本市 24.1%、大阪府 23.6%、全国 25.3%となっています。子どものいる世帯の割合は、ほぼ平均なみであると言えます。

図表 9 子どものいる世帯数の比較（平成 17 年）

	箕面市	大阪府	全国
一般世帯総数 [世帯]	51,293	3,590,593	49,062,530
6 歳未満の子どものいる世帯 [世帯]	5,057	365,950	5,171,707
[構成比 %]	9.9	10.2	10.5
18 歳未満の子どものいる世帯 [世帯]	12,382	847,507	12,403,146
[構成比 %]	24.1	23.6	25.3

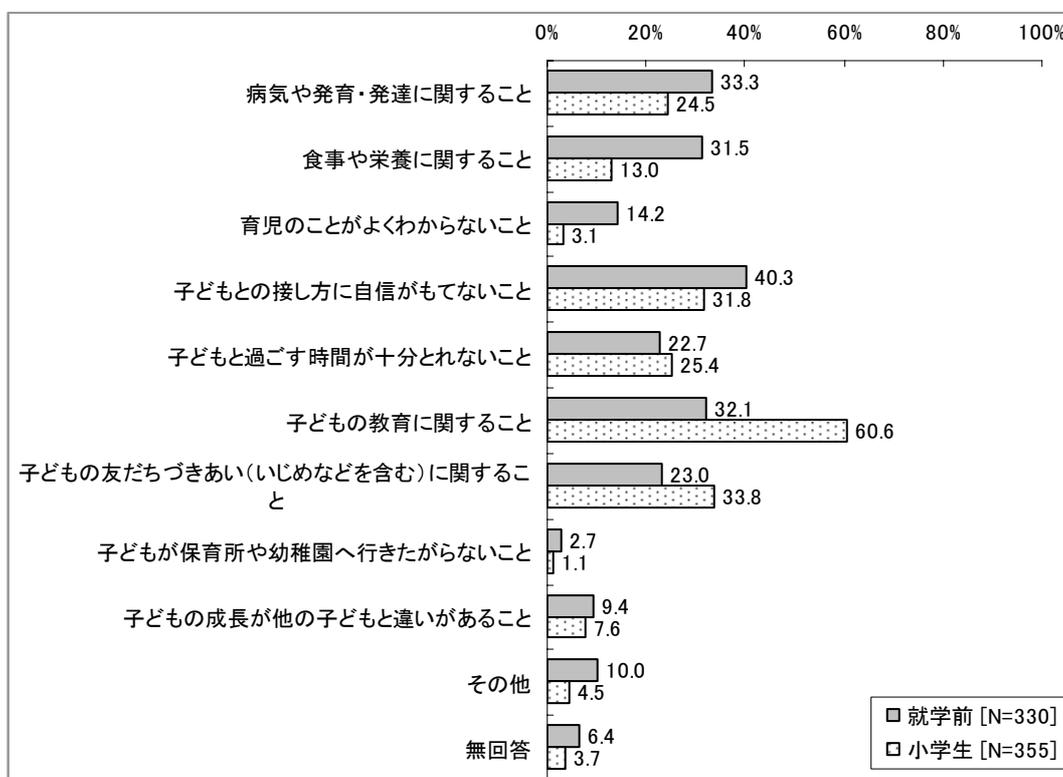
出典) 総務省統計局; 国勢調査, 平成 17 年

② 家族との関わり

平成 20 年度に実施した「箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査／箕面市」（就学前児童保護者・小学生保護者対象。以下、「次世代育成支援調査」）より、子育てを、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」「辛いと感じることの方が多い」と考えている保護者の子どもに関する悩みを見ると、就学前では、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」（40.3%）、「病気や発育・発達に関すること」（33.3%）、「子どもの教育に関すること」（32.1%）の順に高い割合となっています。小学生では、「子どもの教育に関すること」（60.6%）、「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」（33.8%）、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」（31.8%）の順に高い割合となっています。

比較的割合の高い悩みについて、就学前と小学生で比較すると、子どもとの接し方や一緒に過ごす時間は就学前と小学生で共通の悩み、病気や発育・発達、食事や栄養は就学前で特に多い悩み、教育や子どもの友だちづきあいは小学生で特に多い悩みであることが分かります。

図表 10 子どもに関する悩み

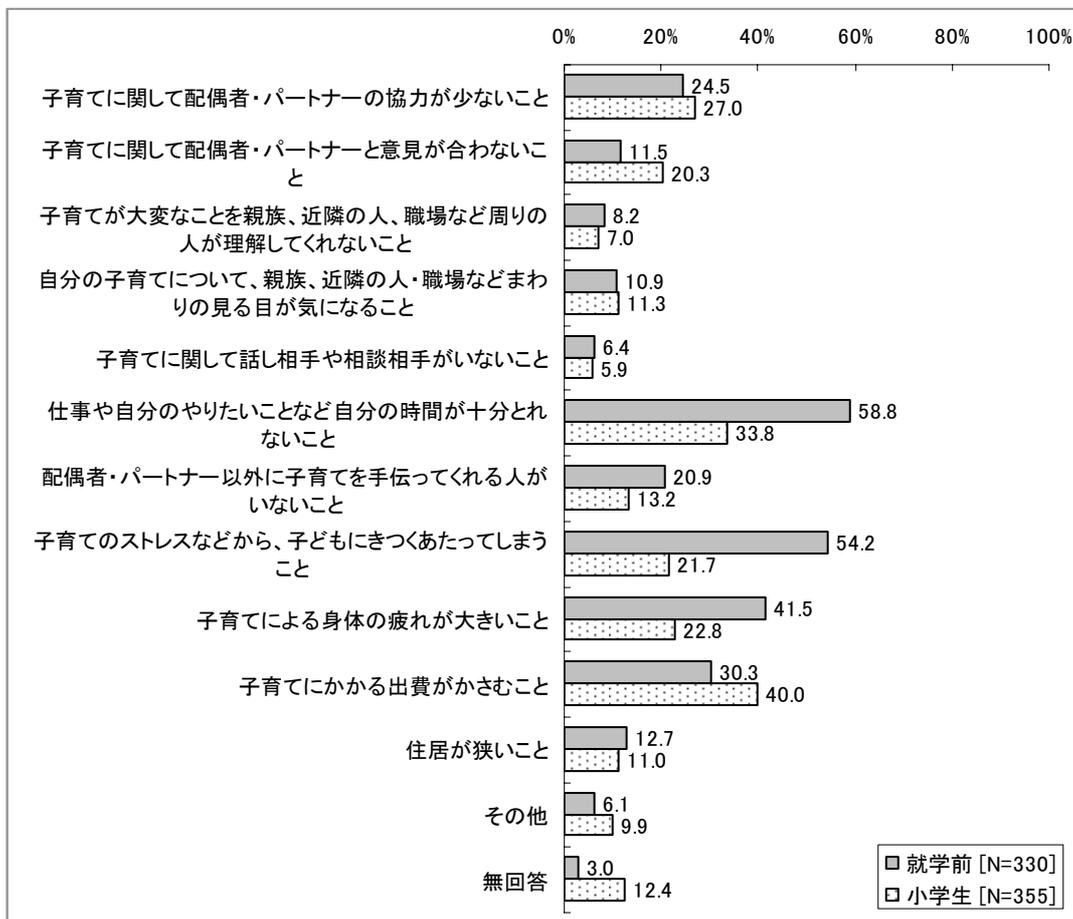


出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査, 平成20年度

子育てを、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」「辛いと感じることの方が多し」と考えている保護者の、親の心身の状態などに関する悩みとしては、就学前は、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分とれないこと」(58.8%)、「子育てのストレスなどから、子どもにきつくあたってしまうこと」(54.2%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(41.5%)の順に高い割合となっています。小学生は、「子育てにかかる出費がかさむこと」(40.0%)、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分とれないこと」(33.8%)、「子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと」(27.0%)の順に高い割合となっています。

比較的割合の高い悩みについて、就学前と小学生で比較すると、自分の時間がとれないこと、子どもにきつくあたってしまうこと、身体の疲れは就学前で特に多い悩み、子育てにかかる出費は小学生で特に多い悩みであることが分かります。

図表 11 親の心身の状態などに関する悩み



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査, 平成20年度

子育てに関する悩みや不安を相談している相手を保護者に聞いたところ、就学前、小学生ともに、「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、知人、友人」の割合が高く、6割以上となっています。

これらに次いで割合の高いものとしては、就学前では、「保育所、幼稚園、学校、学童保育の保護者仲間など」（37.1%）、「育児書・育児雑誌・インターネットで調べる」（25.4%）、「保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、学童保育の指導員など」（24.2%）となっています。小学生では、「保育所、幼稚園、学校、学童保育の保護者仲間など」（34.8%）、「職場の同僚」（20.1%）、「保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、学童保育の指導員など」（19.0%）の順に高い割合となっています。

就学前と小学生を比較すると、「育児書・育児雑誌・インターネットで調べる」の割合が就学前で高くなっています。

図表 12 子育てに関する相談相手

[単位: %]

	就学前 [N=1,066]	小学生 [N=1,133]
配偶者・パートナー	87.3	80.4
その他の親族(親、兄弟姉妹など)	75.6	61.5
隣近所の人、知人、友人	65.6	66.1
職場の同僚	13.6	20.1
保育所、幼稚園、学校、学童保育の保護者仲間など	37.1	34.8
子育てサークルなどの仲間	10.1	3.0
保育所の保育士、幼稚園・小学校の先生、学童保育の指導員など	24.2	19.0
医師、看護師、栄養士など	10.4	5.3
専門カウンセリング(臨床心理士など)	1.7	3.7
民生委員・児童委員、主任児童委員	0.4	0.1
子育て支援センター(おひさまルーム)	8.3	-
子育てサロン	3.9	-
親子の集いの場	2.2	-
母子自立支援員	0.0	0.1
教育センター	0.6	4.5
総合保健福祉センター(ライフプラザ)	5.2	1.1
発達相談「ゆう」(総合保健福祉センター分室)	1.8	0.3
子ども家庭相談室	0.2	0.4
保健所	1.8	0.4
子ども家庭センター	0.2	0.3
ベビーシッター	0.1	0.0
育児書・育児雑誌・インターネットなどで調べる	25.4	8.8
その他	0.6	0.4
相談相手がない	0.2	0.7
相談したことはない	0.4	1.2
無回答	0.2	2.8

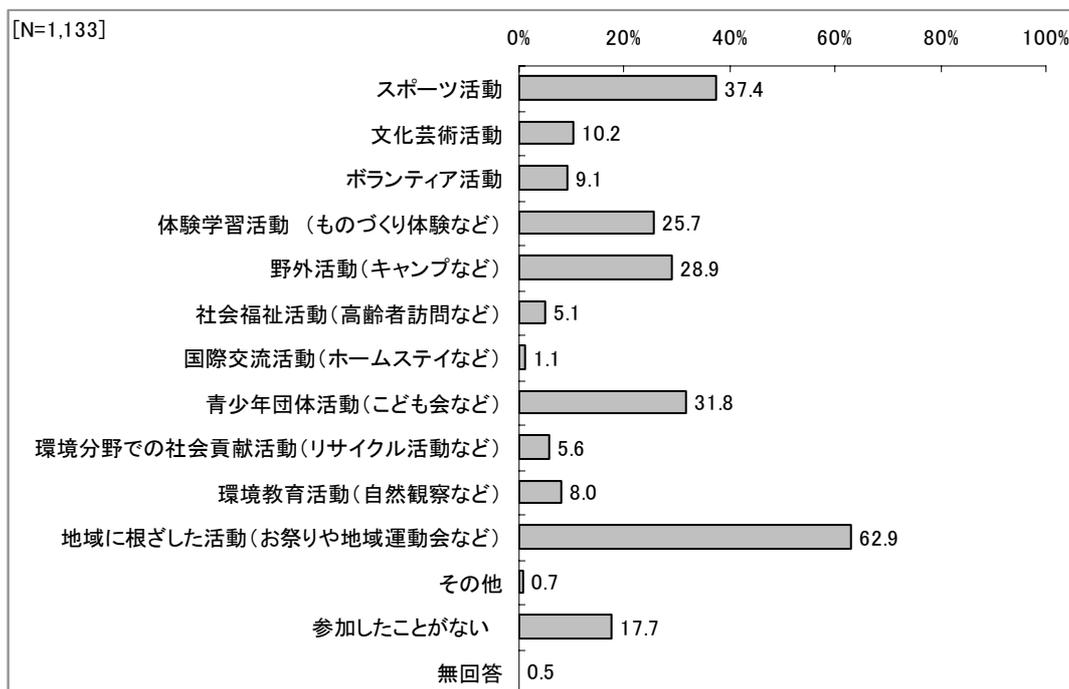
出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査, 平成20年度

③ 地域との関わり

次世代育成支援調査によると、小学生が参加したことがある地域活動やグループ活動としては、「地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会など）」の割合が最も高く62.9%、次いで、「スポーツ活動」の割合が高く37.4%となっています。それ以外の活動で、ボランティア、福祉、国際交流、環境関連の活動は1割未満となっています。また、「参加したことがない」という人も17.7%となっています。

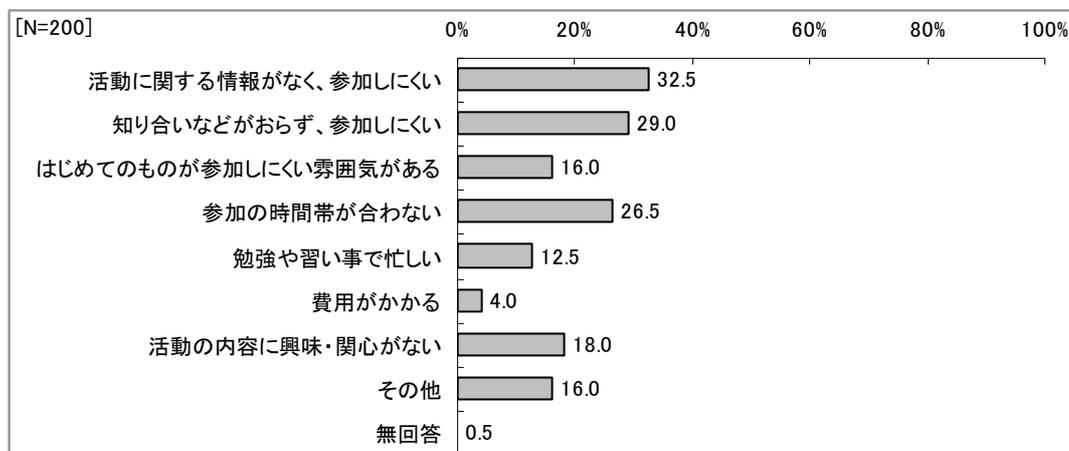
「参加したことがない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、「活動に関する情報がなく、参加しにくい」（32.5%）、「知り合いなどがおらず、参加しにくい」（29.0%）、「参加の時間帯が合わない」（26.5%）の順に高い割合となっています。

図表 13 子どもが参加したことがある地域活動やグループ活動など



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

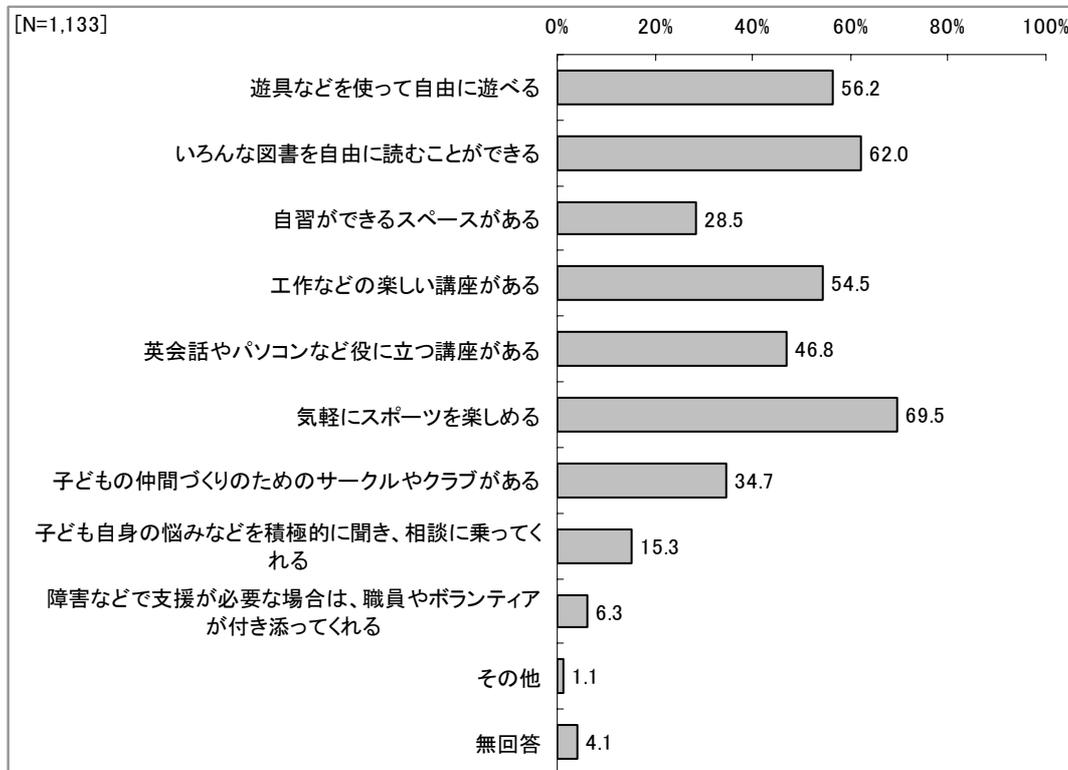
図表 14 子どもが地域活動などに参加したことがない理由



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

小学生の保護者に、公共施設で子どもに利用させてみたいサービスや企画を聞いたところ、「気軽にスポーツを楽しめる」（69.5%）、「いろんな図書を自由に読むことができる」（62.0%）等の割合が高くなっています。全体的に、スポーツ、図書、遊び、工作に関するサービスや企画に対するニーズが高くなっています。

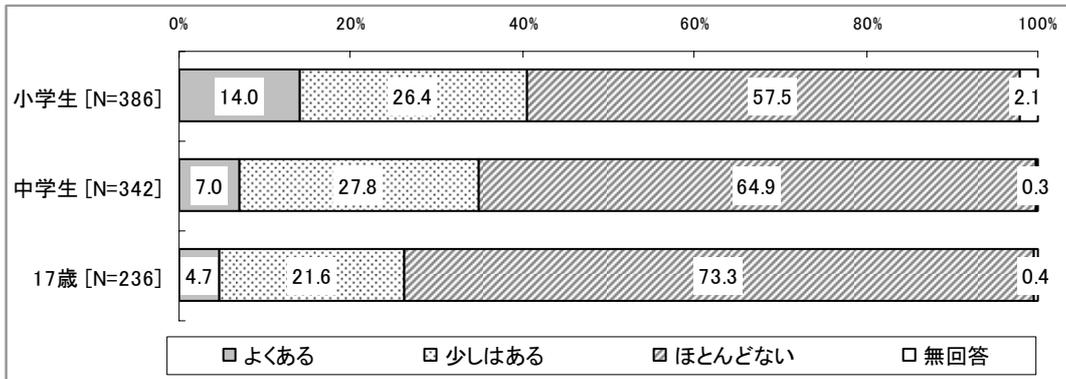
図表 15 公共施設で子どもに利用させてみたいサービスや企画



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

平成20年度に実施した「箕面市子どもの生活実態調査」（小学生・中学生・17歳対象。以下、「子どもの生活実態調査」）において、赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりすることがあるか聞いたところ、17歳では、「ほとんどない」という人の割合が最も高く7割以上となっています。「よくある」「少しはある」をあわせた割合は、小学生で40.4%、中学生34.8%、17歳26.3%と、年齢が上がるにつれて低くなっています。

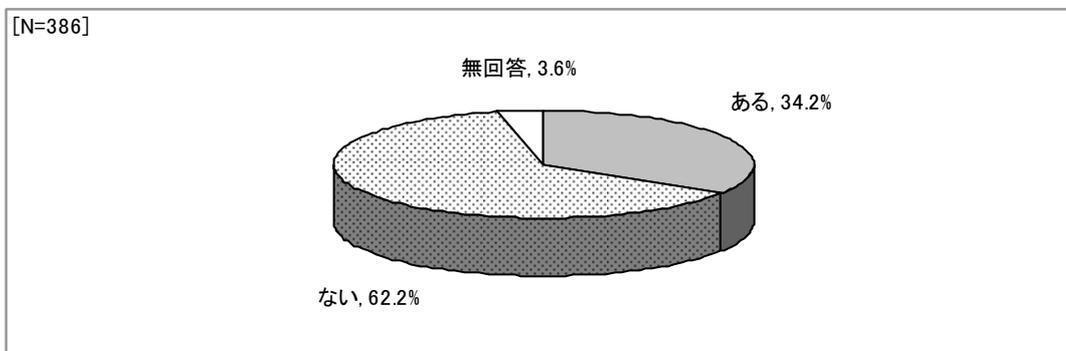
図表 16 赤ちゃんをだっこしたり、あやしたりすることがあるか



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

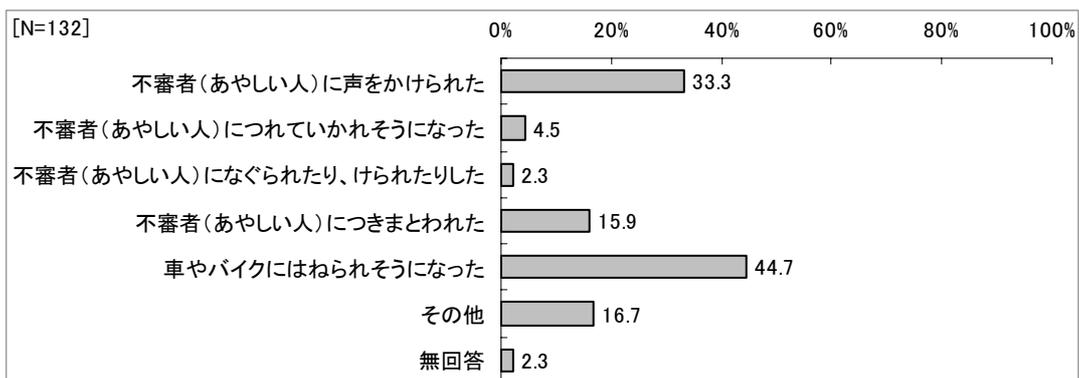
小学生に危ない目やこわい目にあったことがあるか聞いたところ、「ある」という人の割合は34.2%となっています。「ある」という人に、その内容を聞いたところ、「車やバイクにはねられそうになった」(44.7%)、「不審者(あやしい人)に声をかけられた」(33.3%)の順に高い割合となっており、犯罪や交通事故にまきこまれそうになった人が多いことがわかります。

図表 17 危ない目やこわい目にあった経験の有無



出典) 箕面市子どもの生活実態調査(小学生), 平成20年度

図表 18 危ない目やこわい目にあった内容

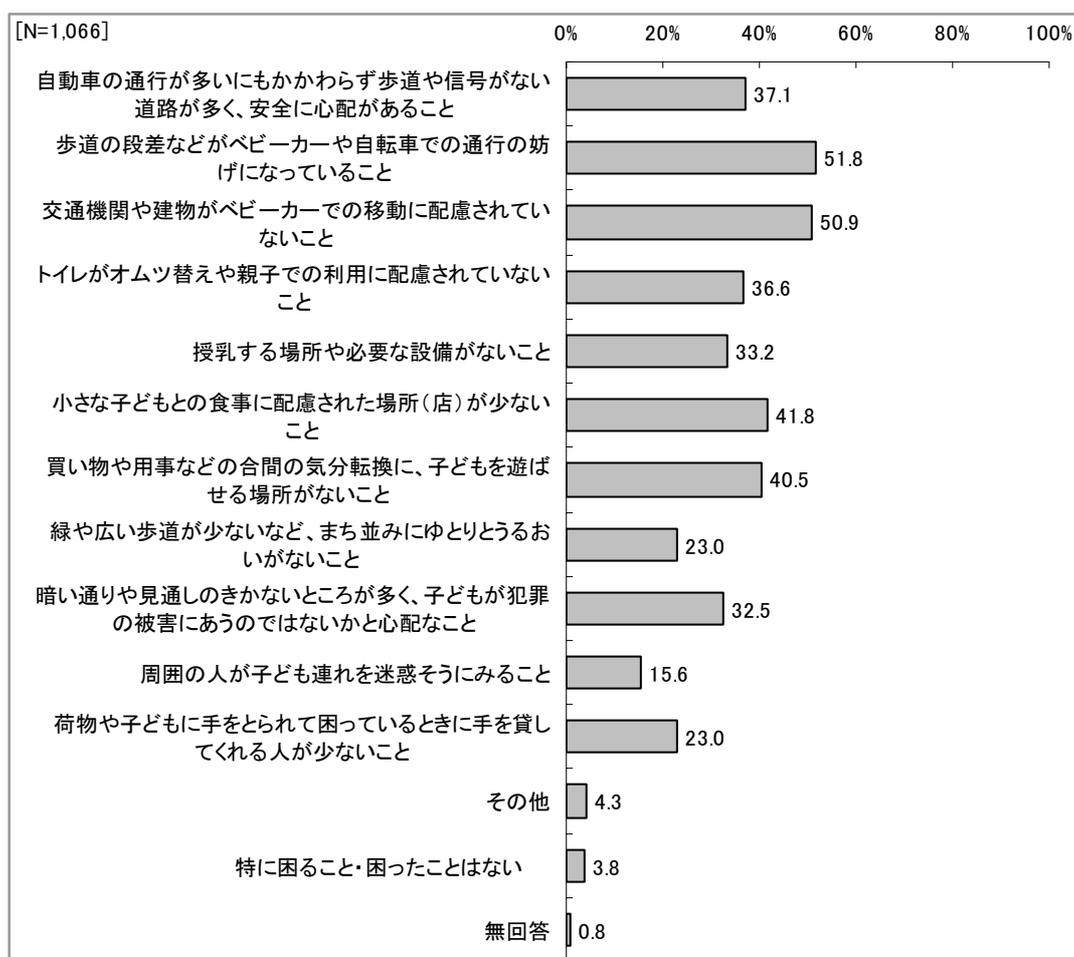


出典) 箕面市子どもの生活実態調査(小学生), 平成20年度

④ 地域の子育て・教育環境

次世代育成調査において、就学前の保護者に子どもと外出する際に不便な点を聞いたところ、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっていること」（51.8%）、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」（50.9%）等の割合が高くなっています。全体的に、ベビーカー、子どもとの食事、子どもの遊び場に関して不便な点があがっています。

図表 19 外出時に不便な点



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

本市では子どもの遊び場となる公園を整備しており、すべての公園面積は 134.45[ha]で、箕面市の総面積 4,784[ha]の 2.8%を占めています。

図表 20 公園の整備状況

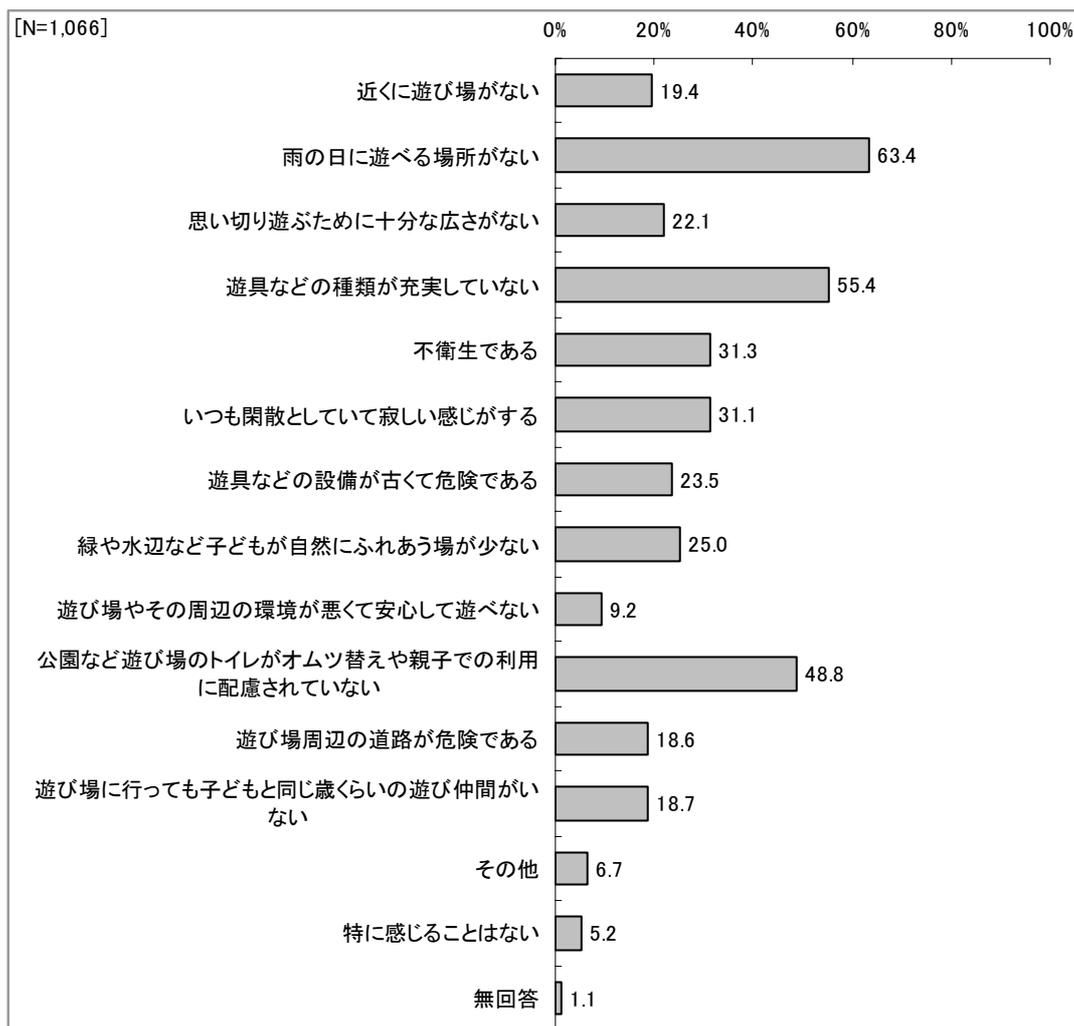
区分	箇所数 [箇所]	面積 [ha]
近隣公園	16	
総合公園	1	
街区公園	65	
府営箕面公園	1	
小計	83	112.35
児童遊園	15	1.10
その他の公園および緑地	190	21.00
合計	288	134.45

出典) 箕面市:平成21年度市勢年鑑

注) 「その他の公園および緑地」 175箇所のうち、4箇所については調整池を利用した公園

次世代育成支援調査において、就学前の保護者に、地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じていることを聞いたところ、「雨の日に遊べる場所がない」(63.4%)の割合が最も高く、次いで、「遊具などの種類が充実していない」(55.4%)、「公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」(48.8%)の順に高い割合となっています。

図表 21 子どもの遊び場に対する感想



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者),平成20年度

⑤ 子育て・家庭と仕事の両立支援

平成 17 年の国勢調査によると、本市の労働力人口は、61,806 人で、うち男性が 59.3%、女性が 40.7%となっています。平成 7～12 年への変化を見ると、労働力人口は全体として減少しているものの、女性は 0.95%と伸びを見せています。また、平成 12～17 年にかけては、労働力人口は全体として増加しており伸び率 1.37%となっているのに対し、女性の伸び率は 5.42%となっています。労働力人口全体が増減する中で、女性の労働力人口は増加していることが分かります。

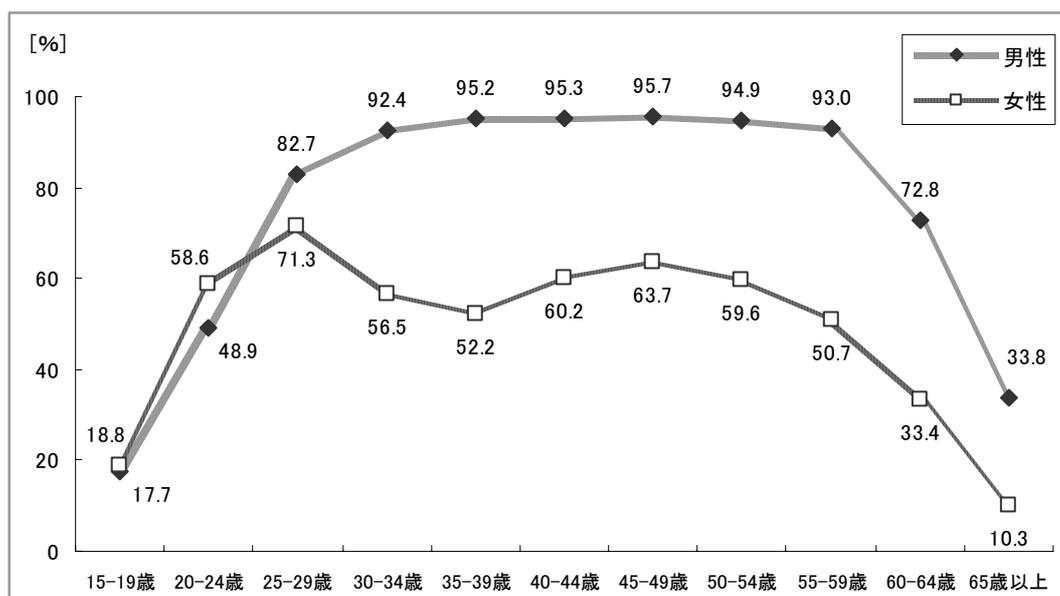
図表 22 労働力人口・労働力率

		平成7年		平成12年		平成17年		平成7年 →平成12年の 伸び率 [%]	平成12年 →平成17年の 伸び率 [%]
		実数 [人]	構成比 [%]	実数 [人]	構成比 [%]	実数 [人]	構成比 [%]		
15歳以上 人口	総数	106,955	100.0	107,016	100.0	109,575	100.0	0.06	2.39
	男性	51,216	47.9	51,281	47.9	52,154	47.6	0.13	1.70
	女性	55,739	52.1	55,735	52.1	57,421	52.4	△0.01	3.03
労働力 人口	総数	63,056	100.0	60,972	100.0	61,806	100.0	△3.30	1.37
	男性	39,437	62.5	37,129	60.9	36,671	59.3	△5.85	△1.23
	女性	23,619	37.5	23,843	39.1	25,135	40.7	0.95	5.42

出典) 総務省統計局;国勢調査,平成7年～17年

本市の年齢階級別・男女別の労働力率を見ると、男性では、30～59 歳にかけて 9 割以上となっています。一方、女性では、30 歳以上で減少し、35-39 歳で 52.2%まで落ち込んだ後、緩やかに増加し、50 歳以上で再び減少していきます。子育て世代で労働力率が落ち込む M 字カーブとなっていますが、子育て後の労働力率は 45-49 歳で 63.7%までしか回復しておらず、25-29 歳の 71.3%より低い値となっています。

図表 23 労働力率の比較 (平成 17 年)



出典) 総務省統計局;国勢調査,平成17年

女性労働力率を、大阪府、全国と比較すると、本市 43.8%、大阪府 44.8%、全国 47.8%と、大阪府、全国と比べて低い値となっています。年齢階級別に比較すると、30 歳以上の労働力率が、大阪府や全国と比べて低くなっています。

図表 24 年齢階級別女性労働力率の比較（平成 17 年）

[単位: %]

	箕面市	大阪府	全国
合計	43.8	44.8	47.8
15～19 歳	18.8	18.7	16.8
20～24 歳	58.6	65.8	67.7
25～29 歳	71.3	69.0	71.6
30～34 歳	56.5	56.8	61.6
35～39 歳	52.2	57.0	62.3
40～44 歳	60.2	63.8	69.5
45～49 歳	63.7	65.9	72.7
50～54 歳	59.6	61.3	68.3
55～59 歳	50.7	53.9	59.7
60～64 歳	33.4	35.8	40.4
65 歳以上	10.3	11.4	14.0

出典) 総務省統計局; 国勢調査, 平成17年

平成 17 年の国勢調査によると、本市に常住している就業者数は 58,634 人で、うち、男性が 59.0%、女性が 41.0%となっています。また、有配偶の女性の割合は全体の 21.5%となっています。

従業地を見ると、通勤者の中で、市内で従業している人の内訳が、男性 43.3%、女性 56.7%となっており、全体の就業者数の内訳と比較して女性の割合が高くなっています。一方、市外で従業している人の内訳は、男性 66.9%、女性 33.1%と、女性の割合が低くなっており、常住地の近くで従業している女性が多いことが分かります。

図表 25 男女別就業者数（平成 17 年）

	全体	男性	女性		
				うち、有配偶の女性	
就業者数 [人]	58,634	34,621	24,013	12,614	
[構成比 %]	100.0	59.0	41.0	21.5	
自宅就業者数 [人]	4,108	2,320	1,788	1,376	
[構成比 %]	100.0	56.5	43.5	33.5	
通勤者数 [人]	54,526	32,301	22,225	11,238	
[構成比 %]	100.0	59.2	40.8	20.6	
市内従業 [人]	17,693	7,655	10,038	5,931	
	[構成比 %]	100.0	43.3	56.7	33.5
	市外従業 [人]	36,833	24,646	12,187	5,307
	[構成比 %]	100.0	66.9	33.1	14.4

出典) 総務省統計局; 国勢調査, 平成17年

男女別就業者数を、大阪府、全国と比較すると、就業者数に占める女性の割合は、本市 41.0%、大阪府 41.3%、全国 41.9%と大きな差はないものの、有配偶の女性の占める割合は、本市 21.5%、大阪府 21.5%、全国 24.8%と、全国と比べて低くなっており、専業主婦の割合が高いことが推察されます。

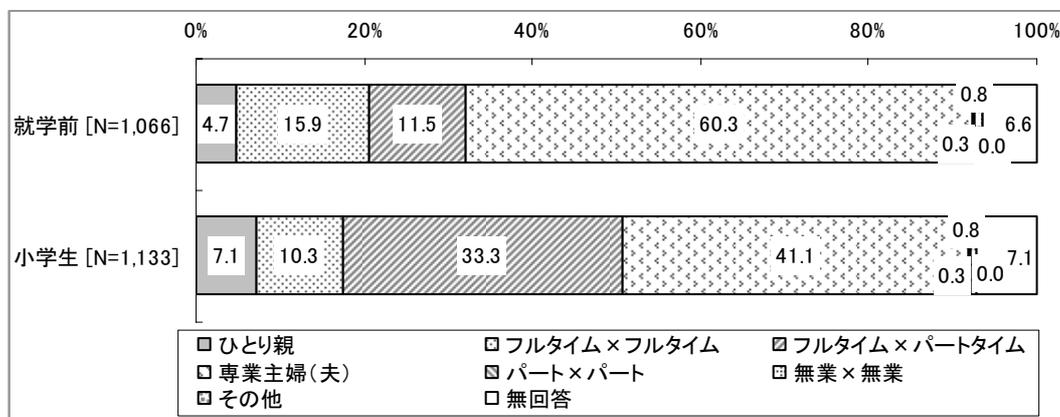
図表 26 男女別就業者数の比較（平成 17 年）

	全体	男性	女性	うち、有配偶の女性
箕面市 [人]	58,634	34,621	24,013	12,614
[構成比%]	100.0	59.0	41.0	21.5
大阪府 [人]	3,954,211	2,321,840	1,632,371	850,576
[構成比%]	100.0	58.7	41.3	21.5
全国 [人]	61,505,973	35,735,300	25,770,673	15,277,104
[構成比%]	100.0	58.1	41.9	24.8

出典) 総務省統計局;国勢調査,平成17年

次世代育成支援調査より、家族類型ごとの割合を見ると、就学前では「専業主婦（夫）」の割合が最も高く 60.3%、次いで、「フルタイム×フルタイム」（15.9%）、「フルタイム×パートタイム」（11.5%）の順に高い割合となっています。小学生では、就学前と比べて、「専業主婦（夫）」の割合が低く 41.1%、「フルタイム×パートタイム」の割合が高く 33.3%となっていることから、子どもが就学するのを機に、パートタイムとして働き始める親が多いことが推察されます。

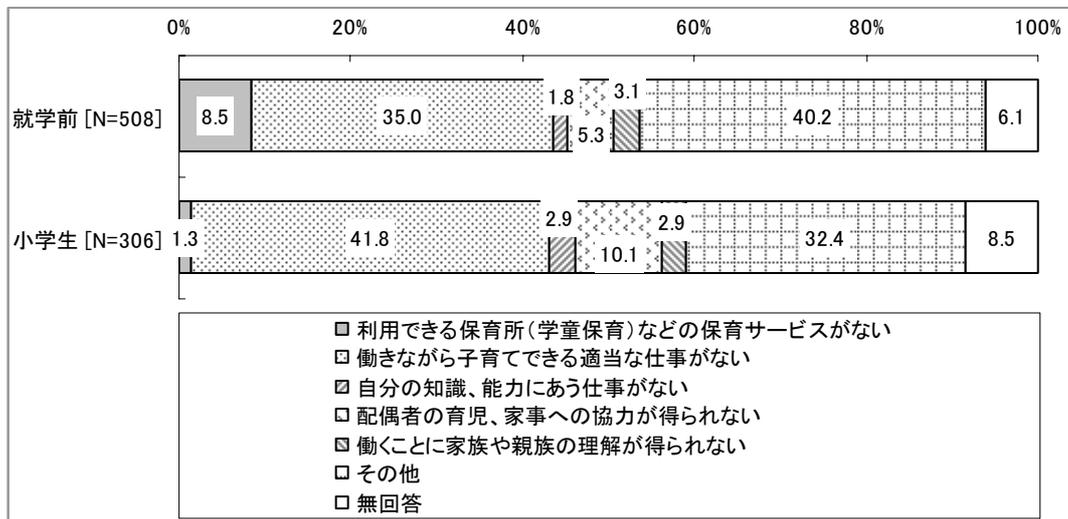
図表 27 家族類型ごとの割合



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査,平成20年度

就労希望がありながら現在働いていない母親にその理由を聞いたところ、就学前、小学生ともに「働きながら子育てできる適当な仕事がない」「その他」という人の割合が高くなっています。「その他」の回答としては、「まだ子どもが小さいため」「今は育児に専念したいため」という回答が多かったことから、仕事がないことや子どもがまだ幼いことを理由に、就労希望があっても働いていない母親が多いことがわかります。

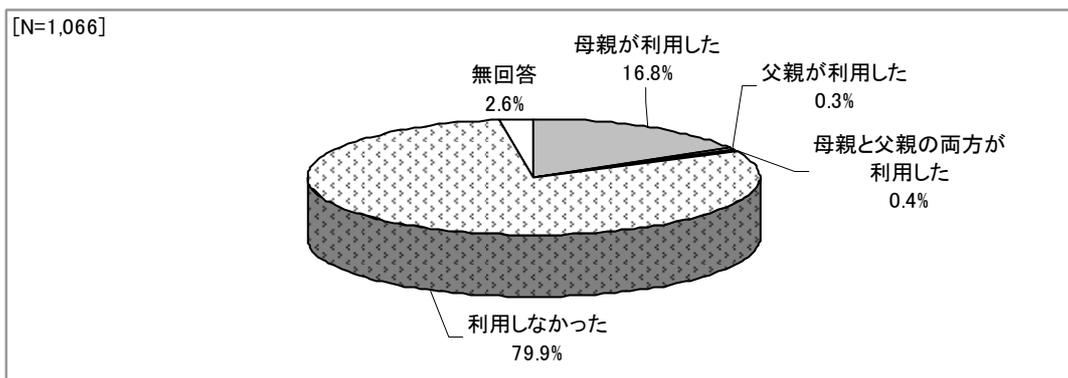
図表 28 母親に就労希望がありながら、働いていない理由について



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査, 平成20年度

就学前の保護者に、育児休業制度を利用したか聞いたところ、「利用しなかった」という人の割合が最も高く 79.9%となっています。利用したという人の中では、「母親が利用した」という人の割合が高く 16.8%となっています。

図表 29 育児休業制度の利用の有無



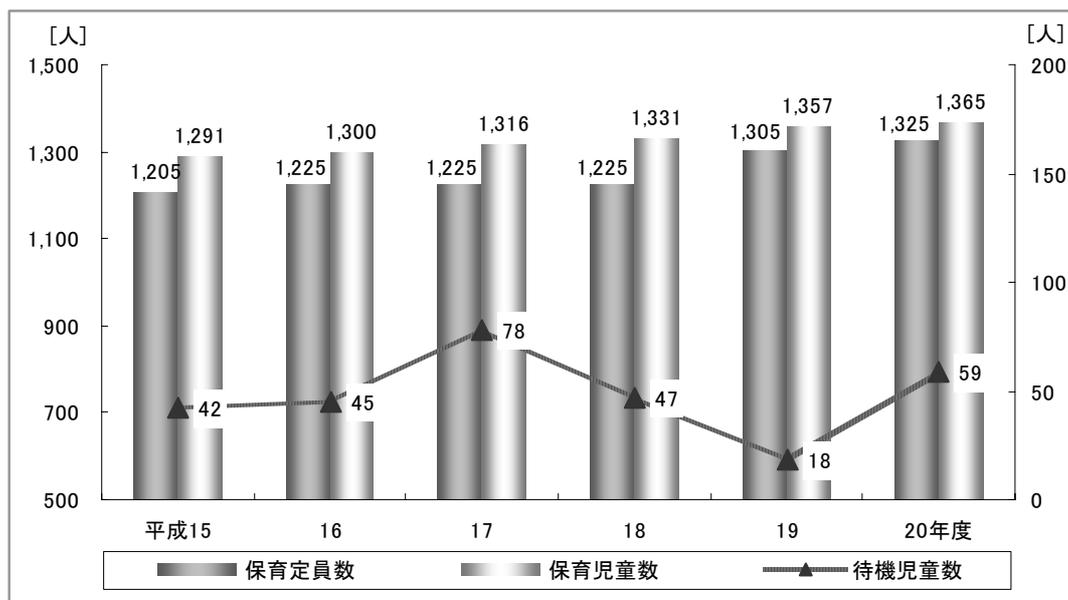
出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

(3) 子どもと保育・教育

① 就学前児童の保育の状況

平成 20 年度における本市の保育所は、市立 5 か所、私立 7 か所の 12 か所となっています。保育定員数は 1,325 人、保育児童数は 1,365 人となっております。平成 15 年度からの変化を見ると、保育児童数が年々、増加しています。待機児童数は、平成 17 年度から平成 19 年度にかけて一旦、減少するも、平成 20 年度に再び増加しています。

図表 30 保育所の定員と入所児童数



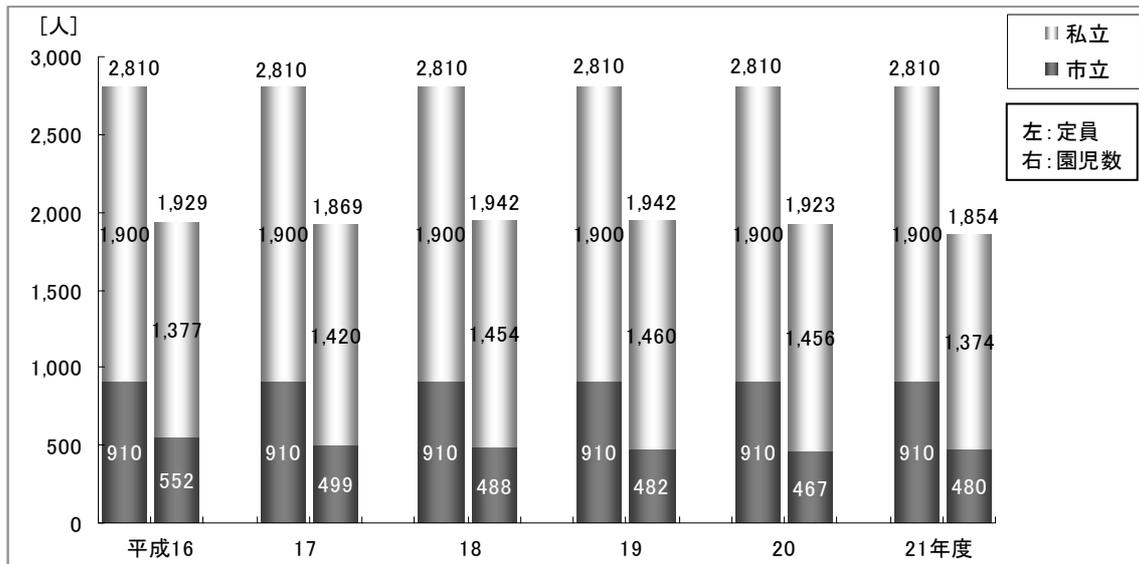
[単位:か所、人]

(平成)年度	平成 15	16	17	18	19	20 年度
保育所数	12	12	12	12	12	12
市立	7	7	7	7	6	5
私立	5	5	5	5	6	7
保育定員数	1,205	1,225	1,225	1,225	1,305	1,325
市立	800	800	800	800	760	660
私立	405	425	425	425	545	665
保育児童数	1,291	1,300	1,316	1,331	1,357	1,365
市立	850	855	860	872	766	654
私立	441	445	456	459	591	711
待機児童数	42	45	78	47	18	59

出典) 箕面市 幼児育成課、平成21年度市勢年鑑

平成 21 年度における本市の幼稚園は 13 か所（市立 6 か所、私立 7 か所）、教員数は 115 人（市立 30 人、私立 85 人）となっています。園児数は 1,854 人で、前述の 3～5 歳の保育児童数 771 人に対し約 2.5 倍となっています。また、園児数は市立 480 人、私立 1,374 人と、私立が市立の約 3 倍となっています。定員と比較すると、市立は定員の約 2 分の 1、私立は定員の約 4 分の 3 の園児数となっています。平成 16 年度からの変化を見ると、増減はあるものの長期的に見ると、私立の園児数に大きな変化はないのに対し、市立の園児数は減少しています。

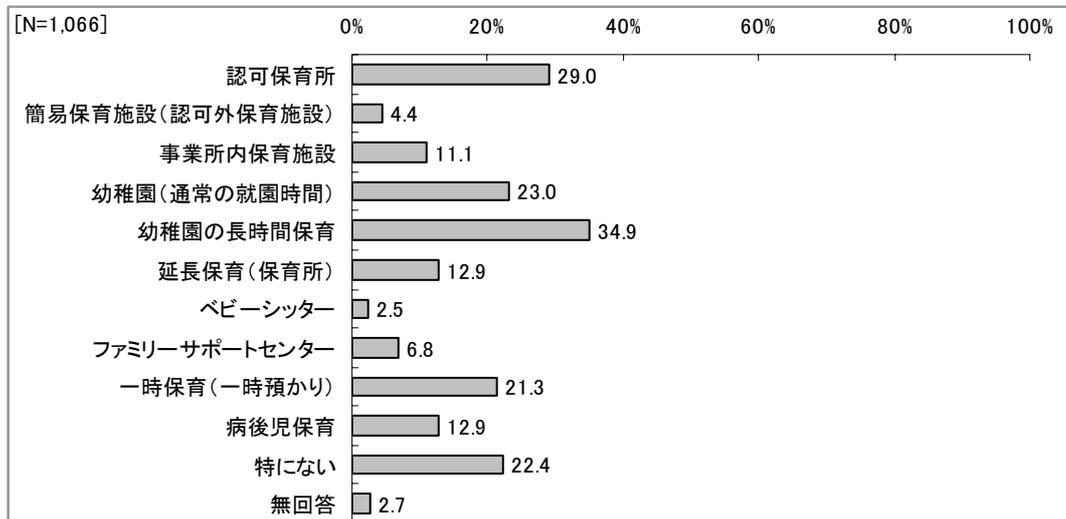
図表 31 幼稚園数・園児数の推移



出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

次世代育成支援調査によると、就学前保護者の今後の保育サービスの利用意向としては、「幼稚園の長時間保育」の割合が最も高く34.9%、次いで、「認可保育所」(29.0%)、「幼稚園(通常の就園時間)」(23.0%)の順に高い割合となっています。また、「特にない」という人の割合は22.4%となっています。

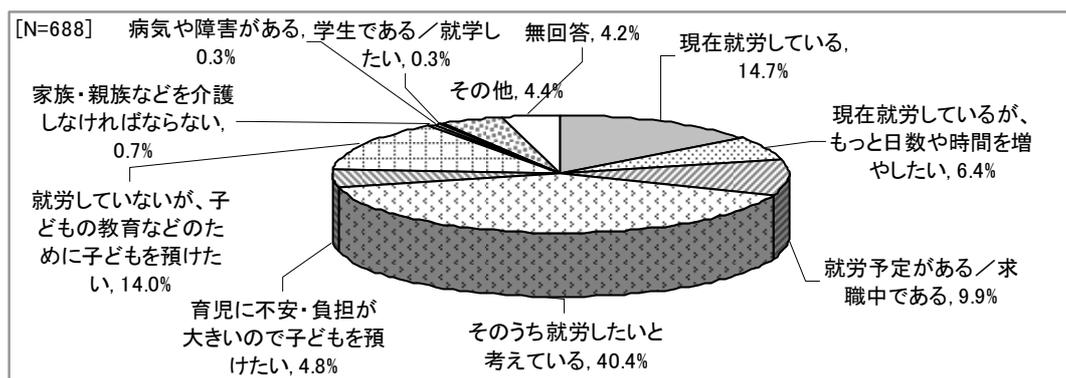
図表 32 保育サービスの利用意向



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

利用したい保育サービスを回答した人に、利用したい理由を聞いたところ、「そのうち就労したい」(40.4%)、「現在就労している」(14.7%)の順に高い割合となっています。就労以外の理由では、「就労していないが、子どもの教育のために子どもを預けたい」という人の割合が高く14.0%となっています。

図表 33 保育サービスを利用したい理由

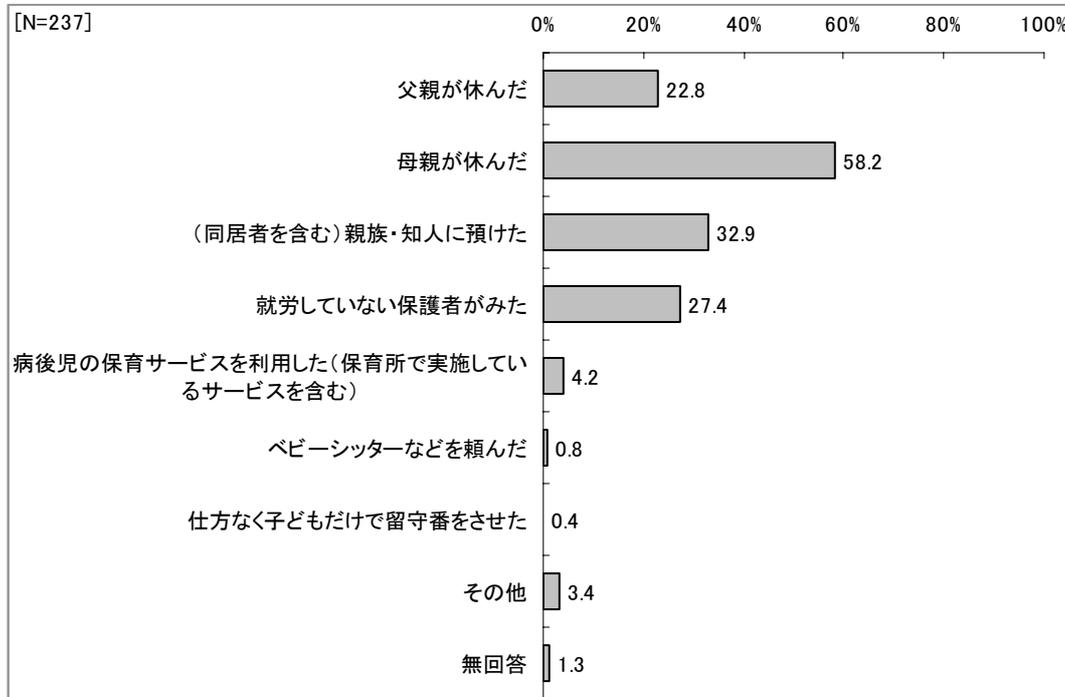


出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

保育サービスを利用している保護者に、この1年間に、子どもの病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことがあるか聞いたところ、「あった」という人は54.1%でした。

「あった」と回答した人に、その時の対処方法を聞いたところ、「母親が休んだ」の割合が最も高く58.2%となっています。

図表 34 通常の保育サービスが利用できなかった時の対処方法



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

本市における子育て支援センターの利用状況を見ると、平成 20 年度の来所組数は 10,648 組、相談件数は 312 件となっています。平成 12 年度からの変化を見ると、来所組数は年々増加しております。また、相談件数も、増減はあるものの、長期的に見ると増加傾向にあります。

図表 35 子育て支援センターの利用状況

		平成 12	13	14	15	16	17	18	19	20 年度
来所組数 [組]	中央	2,460	2,890	3,339	3,969	4,455	4,754	5,042	4,520	4,543
	分室	-	-	-	862	2,855	3,836	4,833	-	-
	西部	-	-	-	-	-	-	-	5,431	6,105
	合計	2,460	2,890	3,339	4,831	7,310	8,590	9,875	9,951	10,648
相談件数 [件]		110	274	370	326	369	282	410	397	312

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

注1) 分室は平成15年10月に設置

注2) 平成18年9月に分室を廃止し、西部子育て支援センターを設置

② 小学生の状況

本市における学童保育の利用状況を見ると、平成 20 年度における施設数は 13 か所、定員は 810 人で、利用人数は 566 人となっています。平成 11 年度からの利用人数の変化を見ると、増減はあるものの、平成 16 年度以降は 530～570 人の間で推移しています。

学童保育の利用状況を校区別に見ると、南、西南、箕面では利用率が高くなっています。

図表 36 学童保育の利用人数の推移

	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 年度
利用人数 [人]	511	498	474	395	461	568	570	536	533	566

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

図表 37 学童保育の校区別利用状況 (平成 20 年度)

対象校区	西	南	西南	豊川北	北	萱野	萱野東	箕面	東	萱野北	中	豊川南	止々呂美
定員 [人]	80	40	70	80	40	70	80	40	70	40	80	80	40
利用人数 [人]	48	34	63	44	14	55	53	52	52	27	61	57	6
利用率 [%]	60.0	85.0	90.0	55.0	35.0	78.6	66.3	130.0	74.3	67.5	76.3	71.3	15.0

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

本市では、学童保育にあわせ、「自由な遊び場開放事業」として、すべての小学生が放課後に自由に遊べるよう、市内すべての市立小学校の体育館や運動場、余裕教室の一室を子どもたちの遊び場として開放しています。

本市における「自由な遊び場開放事業」の利用状況を見ると、平成 20 年度における利用人数は 776 人となっています。平成 11 年度からの変化を見ると、平成 18 年度で 980 人まで増加した後、平成 19 年度で一旦減少し、平成 20 年度で再び増加しています。

「自由な遊び場開放事業」の利用状況を校区別に見ると、西南、萱野東、中で利用人数が多くなっています。また、萱野、豊川南で利用人数に占める学童児の割合が高くなっています。

図表 38 自由な遊び場開放事業の利用人数の推移

	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 年度
利用人数 [人]	694	686	634	747	796	746	819	980	627	776

出典) 箕面市 子ども支援課

図表 39 自由な遊び場開放事業の校区別利用状況 (平成 20 年度)

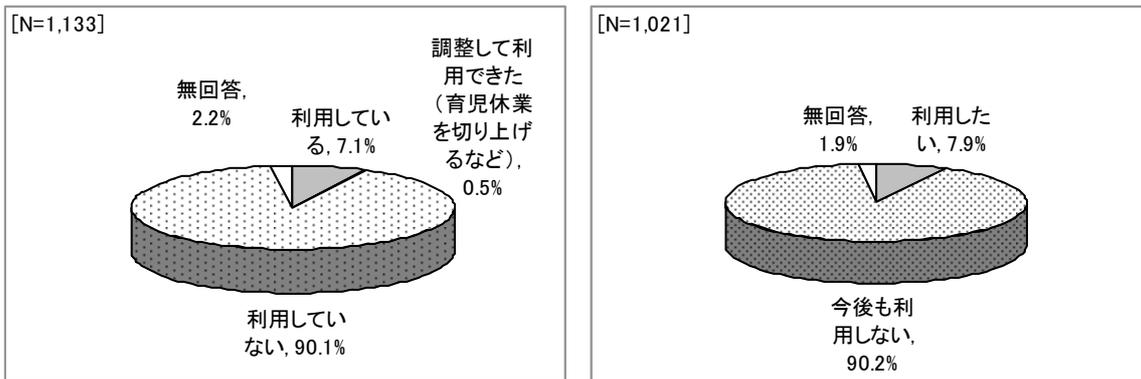
対象校区	箕面	萱野	北	南	西	東	西南	萱野東	豊川北	中	豊川南	萱野北	止々呂美	合計	平均 1校あたりの
利用人数 [人]	58	54	56	62	63	61	96	75	57	82	59	42	13	776	60
うち学童児の 占める割合 [%]	59.3	74.3	22.7	39.8	57.2	58.7	44.3	47.5	58.4	48.7	69.7	47.3	27.3	51.4	55.1

出典) 箕面市資料 子ども支援課

次世代育成支援調査によると、小学生保護者で、現在学童保育を利用している人の割合は、「利用している」と「調整して利用できた（育児休業を切り上げるなど）」をあわせると7.6%、「利用していない」という人の割合は90.1%となっています。「利用していない」と回答した人に、今後の利用意向を聞いたところ、「利用したい」という人の割合は7.9%となっています。

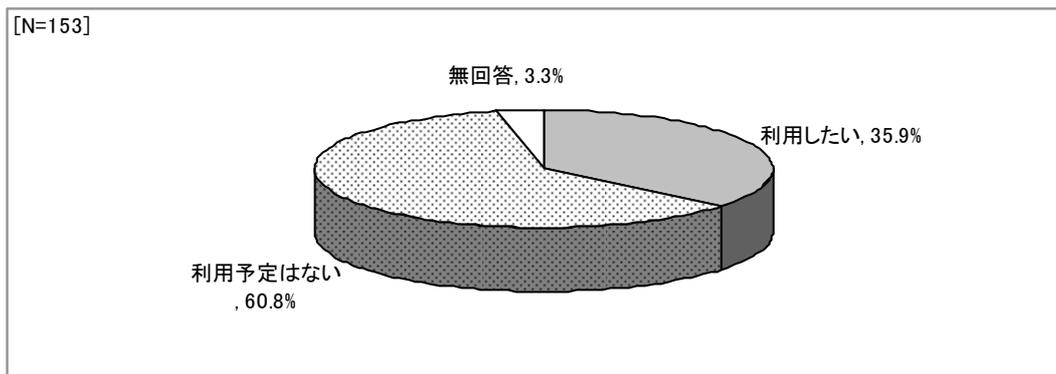
また、来年度就学予定の子どもを持つ保護者に、学童保育の利用意向を聞いたところ、「利用したい」という人は35.9%となっています。

図表 40 小学生の学童保育の利用状況（左図）と今後の利用意向（右図）



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

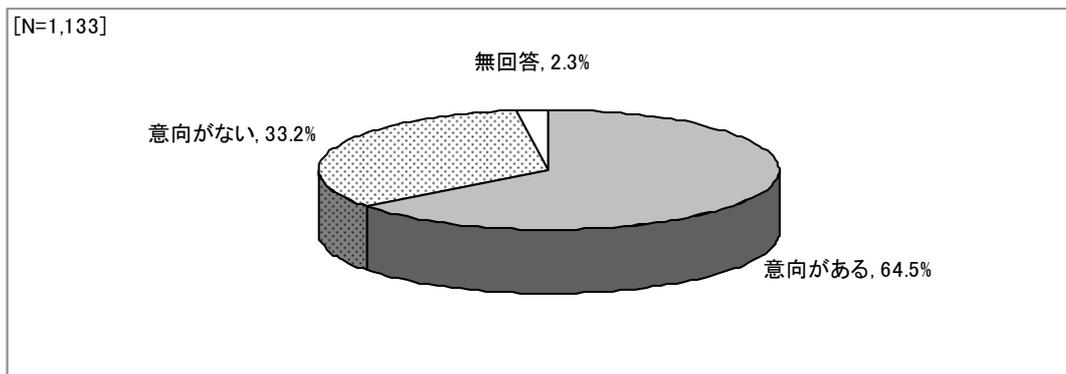
図表 41 来年度就学予定の子どもをもつ保護者の、学童保育の利用意向



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

小学生保護者の自由な遊び場開故事業の利用意向については、「意向がある」という人が64.5%となっており、学童保育よりも利用意向が高くなっています。

図表 42 自由な遊び場開故事業の利用意向



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

③ 学校の状況

平成 21 年度における本市の市立小学校は 13 校、児童数は 7,048 人、教員数は 366 人となっています。平成 16 年度からの変化を見ると、児童数は増加していますが、これに伴い教員数も増加しており、教員 1 人に対する児童数はほぼ一定となっています。

平成 21 年度における本市の市立中学校は 7 校、生徒数は 3,090 人、教員数は 197 人となっています。平成 16 年度からの変化を見ると、増減はあるものの児童数は 3,000 人前後で推移しています。

平成 21 年度における本市の府立高等学校は 2 校、生徒数は 1,579 人となっています。平成 16 年度からの変化を見ると、平成 19 年度まで減少した後、増加に転じています。

図表 43 市立小学校の状況

	平成 16	17	18	19	20	21 年度
学校数 [校]	13	13	13	13	13	13
学級数 [学級]	246	250	258	258	261	271
児童数 [人]	6,891	6,955	6,967	6,898	7,019	7,048
教員数 [人]	324	326	340	346	347	366
教員 1 人あたり児童数 [人]	21	21	20	20	20	19

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

図表 44 市立中学校の状況

	平成 16	17	18	19	20	21 年度
学校数 [校]	7	7	7	7	7	7
学級数 [学級]	98	95	95	95	97	103
生徒数 [人]	2,990	2,969	2,992	3,037	2,966	3,090
教員数 [人]	191	185	186	183	190	197
教員 1 人あたり生徒数 [人]	16	16	16	17	16	16

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

図表 45 府立高等学校の状況

	平成 16	17	18	19	20	21 年度
学校数 [校]	2	2	2	2	2	2
生徒数 [人]	1,676	1,618	1,531	1,517	1,553	1,579

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

本市の小学校における長期欠席は平成 20 年度で 83 人、うち不登校数は 20 人となっており、在籍数に占める不登校数の割合は 2.85%となっています。中学校では、長期欠席は 112 人、うち不登校数は 53 人で、在籍数に占める不登校数の割合は 17.87%となっています。

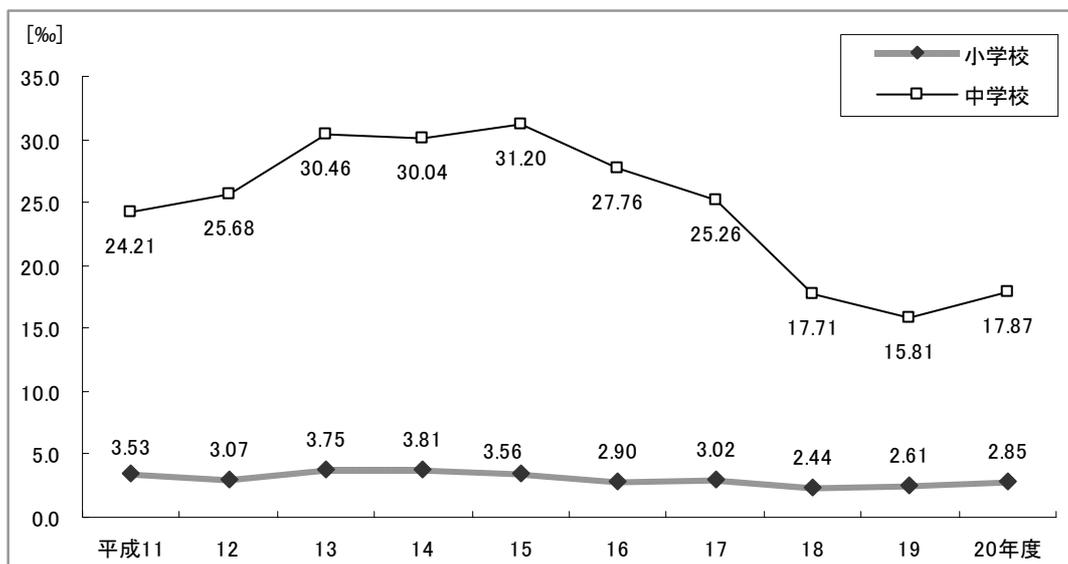
平成 11 年度からの小中学校における不登校千人率の推移を見ると、小学校では、大きな増減はないものの、平成 18 年度以降微増となっています。中学校では、小学校に比べて出現率が大きく伸びた後、平成 19 年度にかけて減少していたものの、それ以降微増となっています。

図表 46 小中学校の長期欠席・不登校数・不登校千人率（平成 20 年度）

	長期欠席 [人]	うち不登校数 [人]	在籍数 [人]	不登校千人率 [%]
小学校	83	20	7,019	2.85
中学校	112	53	2,966	17.87

出典) 箕面市 学校教育課

図表 47 小中学校の不登校千人率の推移

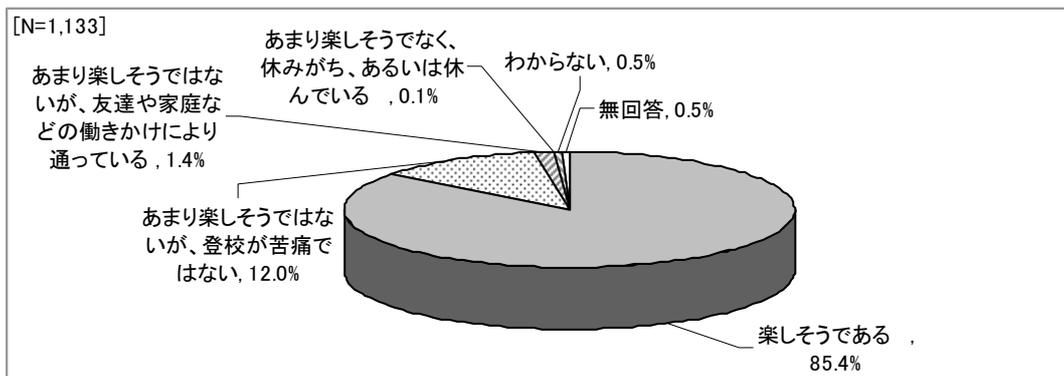


出典) 箕面市 学校教育課

次世代育成支援調査において、小学生保護者に学校に行くときの子どもの様子を聞いたところ、「楽しそうである」という人の割合が最も高く、85.4%となっています。次いで、「あまり楽しそうではないが、登校が苦痛ではない」（12.0%）という人の割合が高くなっています。

また、「あまり楽しそうでなく休みがち、あるいは休んでいる」という人は 0.1%となっており、前述の小学生の不登校千人率 2.85%からも、不登校の小学生は 1000 人に 1~2 人となっていることが分かります。

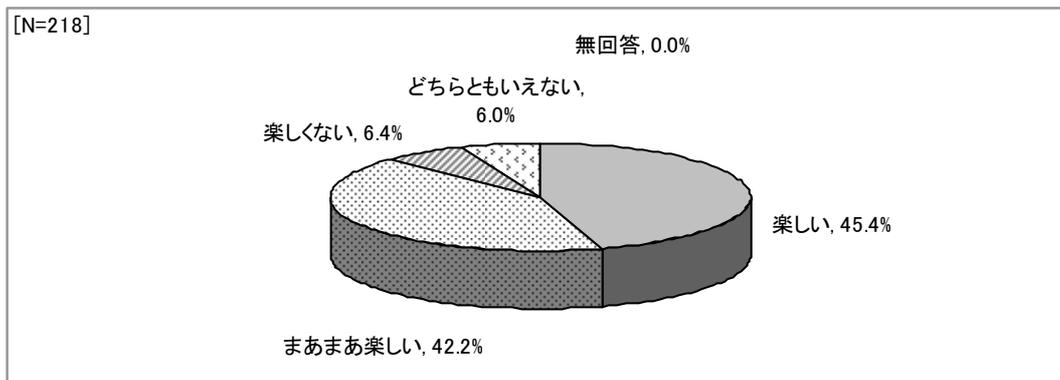
図表 48 学校に行く子どもの様子



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(小学生保護者), 平成20年度

子どもの生活実態調査において、現在学校に通っている 17 歳に対し、現在の学校生活が楽しいか聞いたところ、「楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせると 87.6%、「楽しくない」の割合は 6.4%となっています。

図表 49 現在の学校生活は楽しいか



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

(4) 子どもと健康

① 母子保健の状況

平成20年度における健康診査の受診率は、妊婦健康診査92.9%、1歳6か月健診94.3%、3歳6か月健診88.5%となっています。平成15年度からの1歳6か月健診、3歳6か月健診の受診率は増加傾向にあり、特に3歳6か月健診においては、11.7%増加しています。

図表 50 健康診査の受診状況の推移

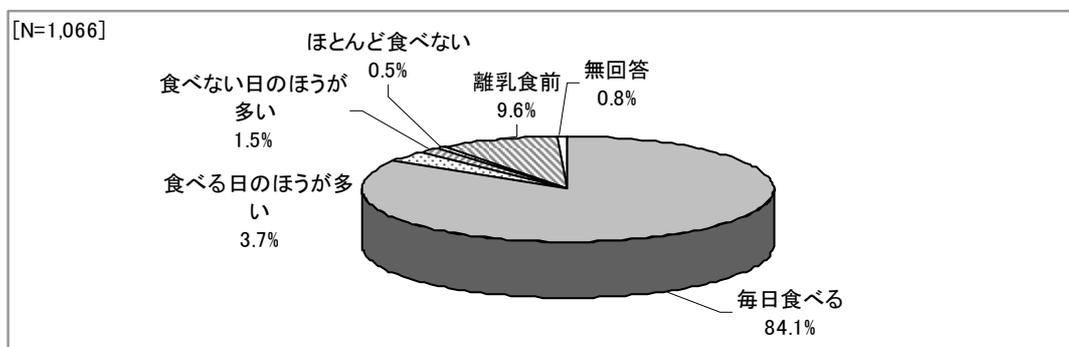
	平成 15	16	17	18	19	20 年度	
妊婦健康診査	対象者数 [人]	1,119	1,006	1,153	1,142	1,113	1,090
	受診者数 [人]	1,043	998	1,026	1,054	1,038	1,013
	受診率 [%]	93.2%	99.2%	89.0%	92.3%	93.3%	92.9%
1歳6か月健診	対象者数 [人]	1,123	1,065	1,152	1,083	1,103	1,107
	受診者数 [人]	1,006	967	1,077	1,038	1,051	1,044
	受診率 [%]	89.6%	90.8%	93.5%	95.8%	95.3%	94.3%
3歳6か月健診	対象者数 [人]	1,103	1,153	1,181	1,154	1,203	1,127
	受診者数 [人]	847	915	922	974	1,009	997
	受診率 [%]	76.8%	79.4%	78.1%	84.4%	83.9%	88.5%

出典) 箕面市:平成21年度市勢年鑑、箕面市 健康増進課

注) 平成20年6月から、妊婦健康診査の受診回数が1回から5回に拡大したため、1回目の受診者数を利用

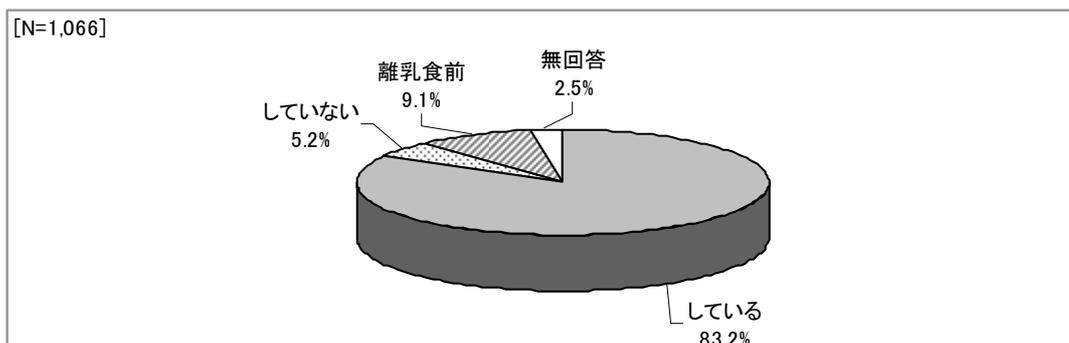
次世代育成支援調査によると、就学前児童の朝食の頻度は、「毎日食べる」の割合が最も高く83.9%となっており、離乳食前を除くと大半の児童が、毎日朝食を食べていることが分かります。また、1日1回は家族と一緒に食事をしているかについては、「している」の割合が最も高く83.2%となっていますが、「していない」の割合も5.2%となっています。

図表 51 朝食の頻度



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

図表 52 1日1回は家族と一緒に食事をしているか



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

平成 20 年度における保健師と地区福祉会（西南小のみ民生委員・児童委員協議会）との共催での健康教育・健康相談を実施した子育てサロンの参加者数は 4,205 人、育児サークルは 125 人となっています。子育てサロンは各小学校区で平成 14 年度から設置が始まり、平成 18 年度には全地区に広がり、1 地区、年 6～12 回開催されており、身近な地域で子育ての情報や相談が気軽に受けられるようになってきたことが分かります。

図表 53 保健福祉分野での子育て支援参加者数の推移

	平成 11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 年度
子育てサロン参加者数 [人]	-	-	-	268	2,192	2,889	4,071	4,711	4,695	4,205
自主育児サークル参加者数 [人]	69	237	376	381	589	368	691	264	179	125

出典) 箕面市 健康増進課

図表 54 子育てサロンの校區別子育て支援参加状況（平成 20 年度）

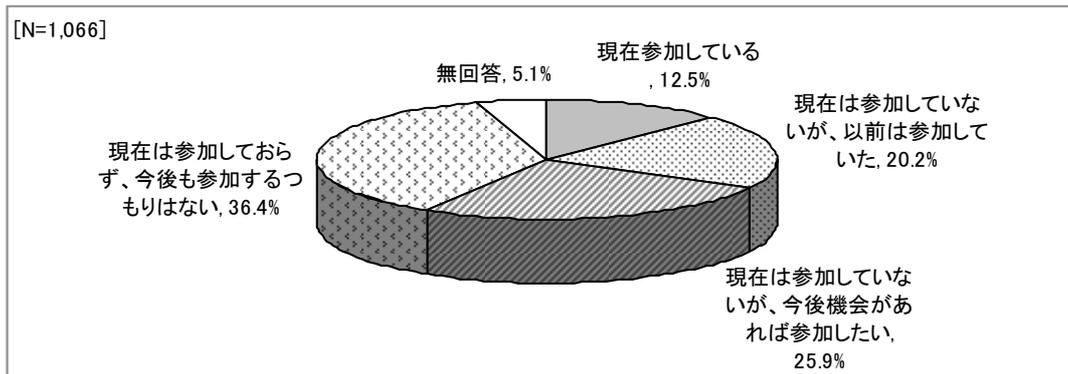
校区名	中小	東小	南小	萱野東小	西南小	豊川北小	豊川南小	箕面小	北小	西小	萱野北小	萱野小	合計
開催場所	中小コミセン	東小コミセン	南小さくら ルームみなみ	萱野東小 コミセン	せいなん 幼稚園	豊川北小 コミセン	豊川南小コミ センとよかわ みなみ幼稚園	日時計ルーム みのお	中央生涯学習 センター	星座ルーム西	萱野北小 コミセン	みのお市民活 動センター	
開催回数 [回]	12	11	11	6	11	9	12	8	12	11	12	10	125
延べ人数 [人]	493	480	366	178	538	280	432	231	228	362	302	315	4,205

出典) 箕面市 健康増進課

次世代育成支援調査より、就学前保護者で、子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加している人の割合を見ると、参加している人が12.5%、参加していない人は82.5%となっています。参加していない人の中では、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」という人の割合が全体の25.9%となっています。

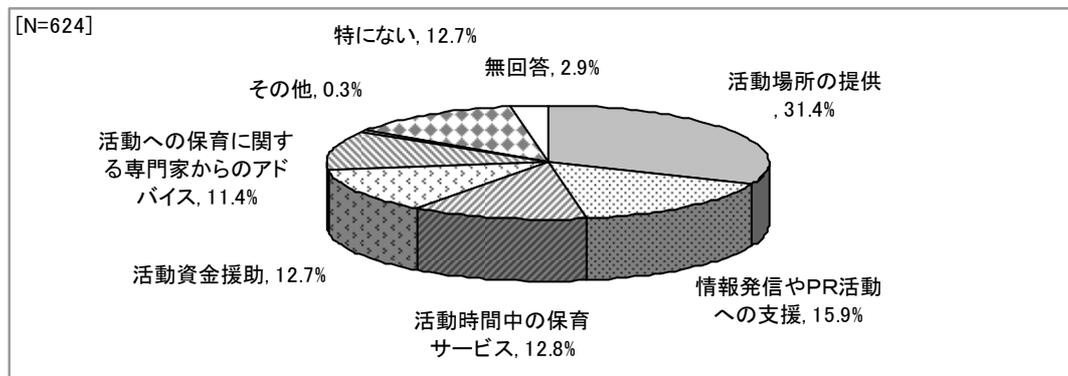
「現在参加している」「現在は参加していないが、以前は参加していた」「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」という人に、自主活動のために行政に行って欲しい支援を聞いたところ、「活動場所の提供」(31.4%)、「情報発信やPR活動への支援」(15.9%)の順に高い割合となっています。

図表 55 子育てに関するサークルなど自主的な活動への参加の有無



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

図表 56 自主活動のため行政に行って欲しい支援



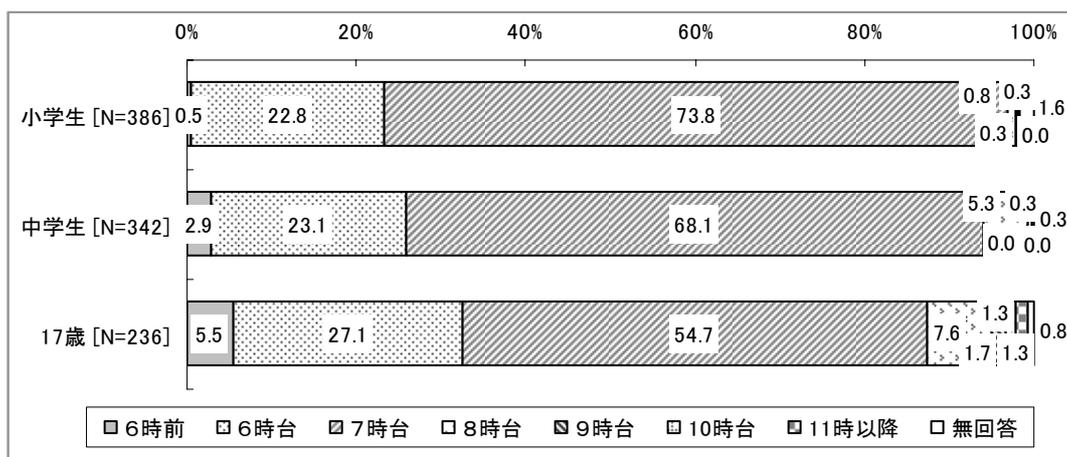
出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査(就学前保護者), 平成20年度

② 子どもの生活実態

子どもの生活実態調査によると、平日の起床時間は、小・中・17歳いずれも「7時台」の割合が最も高く、5.5～7.5割となっています。小・中・17歳と年齢が上がるにつれて、6時以前の割合と8時以降の割合が高くなっており、二極化していることが分かります。

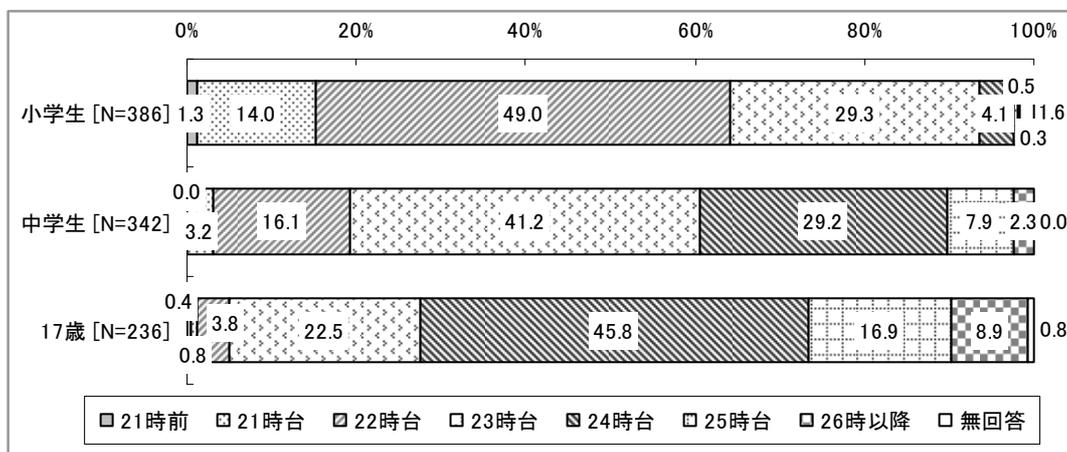
平日の就寝時間については、小学生では「22時台」（49.0%）、中学生では「23時台」（41.2%）、17歳では「24時台」（45.8%）の割合が最も高くなっており、年齢が上がるにつれて、就寝時間が遅くなっていることが分かります。また、平日にも関わらず、25時以降の割合が中学生で10.2%、17歳で25.8%と、夜型の生活をしている人がいることが分かります。

図表 57 平日の起床時間



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

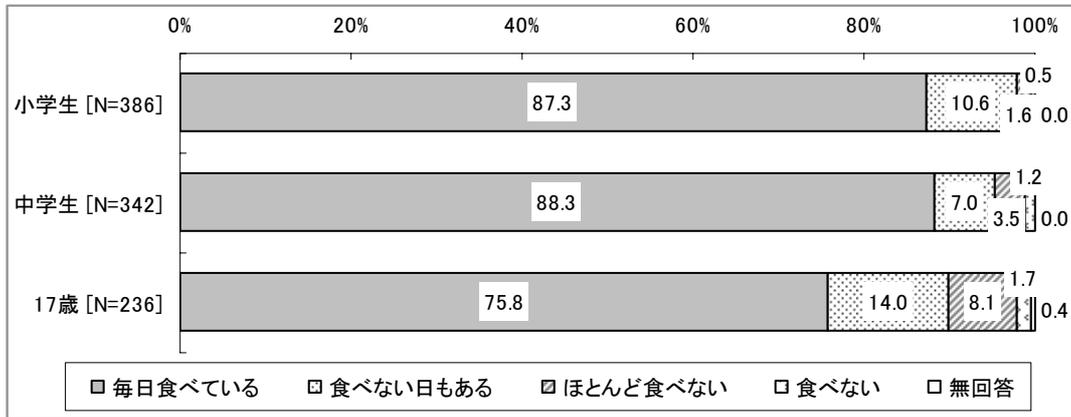
図表 58 平日の就寝時間



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

朝食の頻度については、小・中・17歳いずれも「毎日食べている」という人の割合が最も高くなっていますが、小学生と中学生が約9割であるのに対し、17歳は約7.5割となっています。また、「食べない日もある」という人の割合は、小学生で10.6%、中学生で7.0%、17歳では14.0%となっています。また、「ほとんど食べない」という人の割合も、中学生で3.5%、17歳で8.1%となっています。

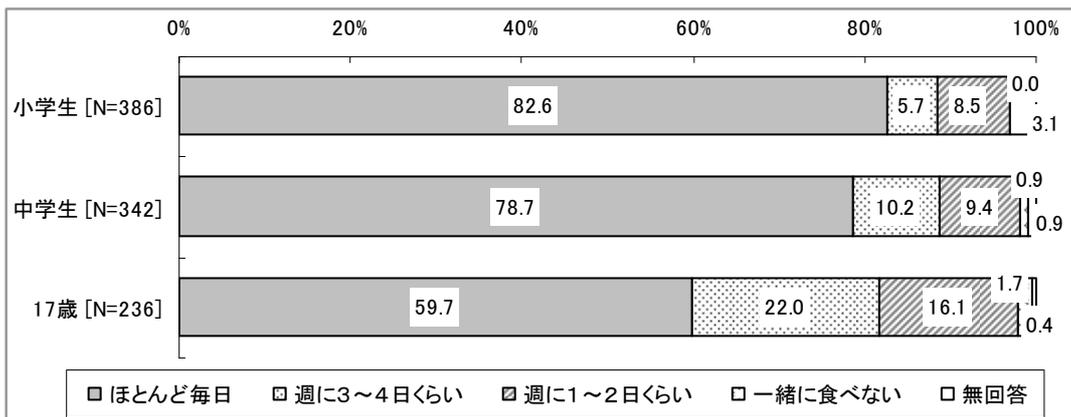
図表 59 朝食の頻度



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

家族と一緒に食事をする頻度については、小・中・17歳いずれも「ほとんど毎日」という人の割合が最も高く、6~8.5割となっています。年齢が上がるにつれて、「週に3~4日」「週に1~2日くらい」を合わせた不定期に一緒に食べている人の割合が高くなり、小学生で14.2%であるのに対し、中学生では19.6%、17歳では38.1%となっています。また、17歳では、「一緒に食べない」の割合が1.7%となっています。

図表 60 家族と一緒に食事をする頻度



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

平日の放課後にしていることを見ると、小学生では、「塾や習いごと」（54.1%）、「勉強をする」（52.8%）、「のんびりする」（49.7%）の順に高い割合となっています。中学生では、「部活動をする」（79.5%）、「のんびりする」（44.4%）、「音楽をきく」（43.6%）の順に高い割合となっています。

前回調査と比較すると、「パソコン（インターネットなど）をする」「音楽をきく」「おしゃべりをする」「のんびりする」「勉強をする」といった室内での過ごし方の割合が、小学生と中学生で共通して上昇しています。

図表 61 子どもが平日の放課後にしていること

[単位: %]

	小学生 今回 H20 調査 [N=386]	小学生 前回 H13 調査 [N=1,268]	中学生 今回 H20 調査 [N=342]	中学生 前回 H13 調査 [N=1,268]
公園、広場などで遊ぶ	47.2	6.7	-	-
塾や習いごと	54.1	48.7	-	-
部活動をする	-	-	79.5	75.6
野球やサッカーなどのスポーツをする	44.0	29.0	12.0	13.8
魚つり、虫とり、草花をつんで遊ぶ	1.8	5.3	1.5	3.9
自転車、スケートボードなどに乗る	24.4	27.4	0.6	1.3
トランプや将棋などで遊ぶ	10.1	8.8	2.6	2.0
本やマンガ、雑誌を読む	43.8	50.4	33.9	36.5
テレビゲームなどで遊ぶ	48.4	50.6	25.1	32.1
カードゲームで遊ぶ	18.7	26.8	5.3	6.6
テレビやDVDなどをみる	39.6	47.9	31.6	38.7
パソコン(インターネットなど)をする	21.5	13.7	31.0	15.0
携帯電話(メールなど)をする	8.5	-	28.1	-
音楽をきく	29.8	18.6	43.6	36.5
楽器演奏などの趣味を楽しむ	-	-	12.3	8.0
絵を描いたり、物を作ったりする	17.6	12.1	12.3	9.2
おしゃべりをする	42.5	28.9	34.8	22.2
のんびりする	49.7	39.4	44.4	38.5
勉強をする	52.8	35.4	38.9	20.7
家事の手伝いをする	20.2	14.2	11.4	10.6
買い物にでかける	-	-	7.0	10.1
地域活動やボランティア活動をする	-	-	0.3	0.5
その他	2.6	3.5	2.3	4.3
無回答	1.6	0.0	0.3	0.7

出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

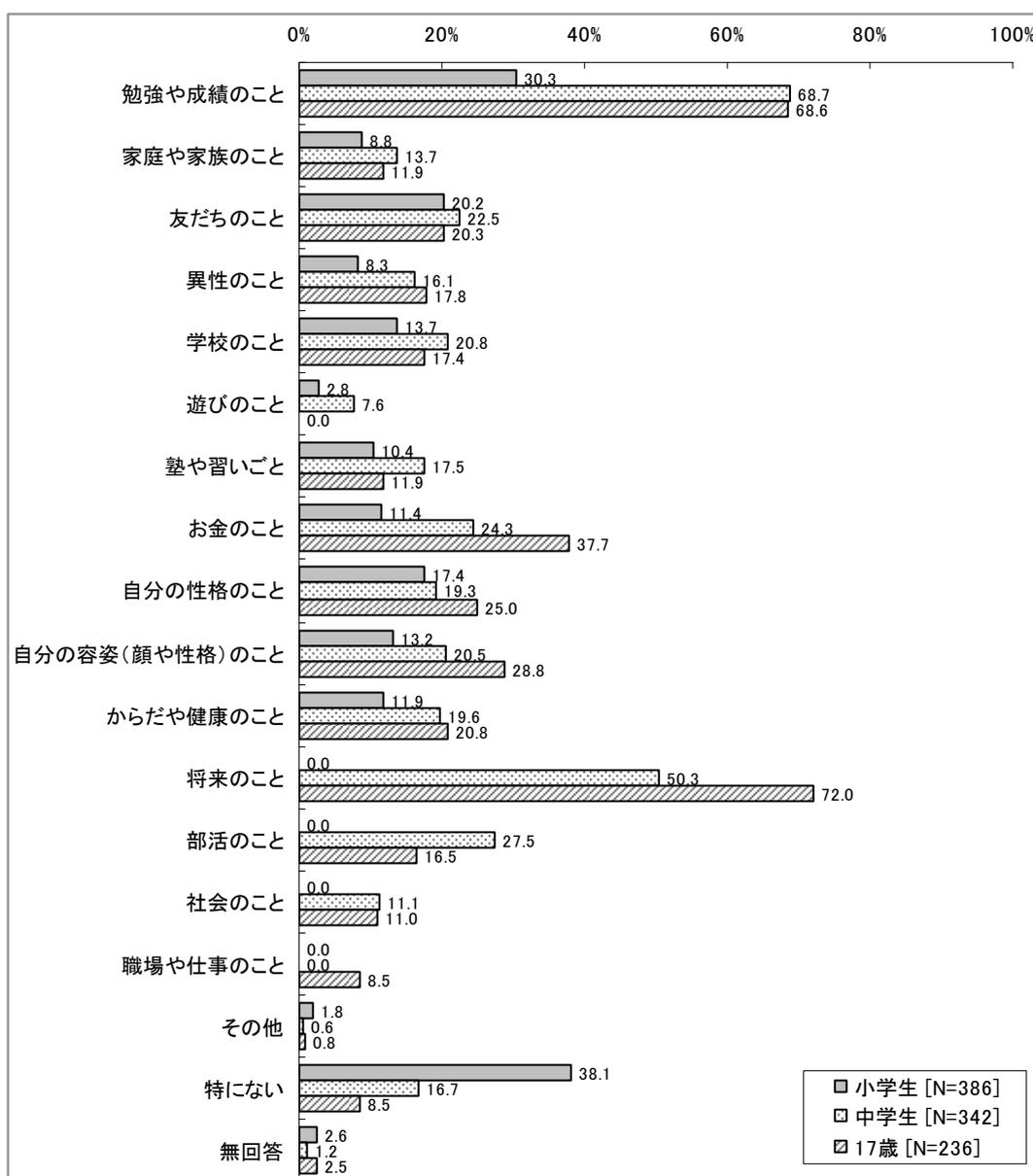
(5) 子どもと人権

① 子どもの悩みごと、相談相手

子どもの生活実態調査において、今、困っていること、心配なことを聞いたところ、小学生では、「特にない」の割合が最も高く 38.1%、次いで、「勉強や成績のこと」(30.3%)、「友だちのこと」(20.2%)の順に高い割合となっています。中学生では、「勉強や成績のこと」(68.7%)、「将来のこと」(50.3%)、「部活のこと」(27.5%)の順に高い割合となっています。17歳では、「将来のこと」(72.0%)、「勉強や成績のこと」(68.6%)、「お金のこと」(37.7%)の順に高い割合となっています。

勉強や成績は小・中・17歳で共通の悩み、将来のことは中学生と17歳で共通の悩みであることが分かります。

図表 62 困っていること、心配なこと

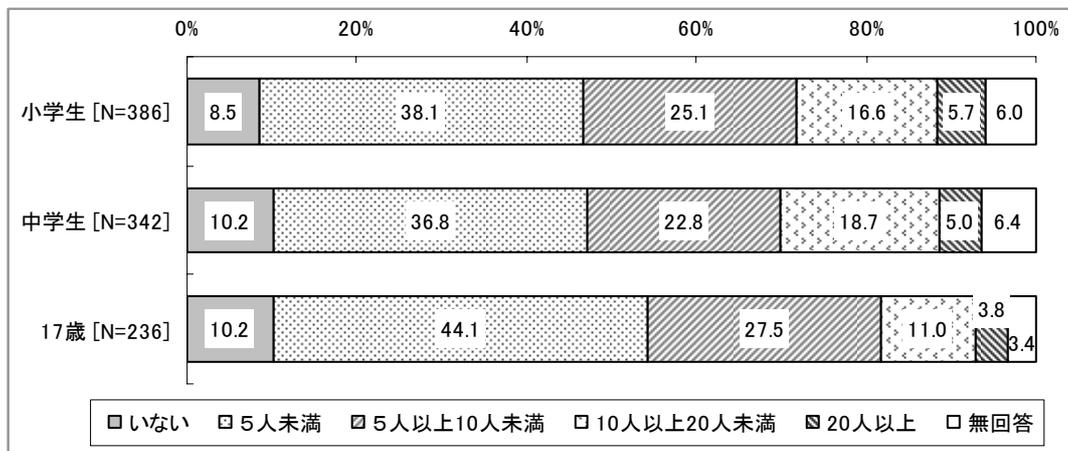


出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

注) 「遊びのこと」は小学生、中学生のみの選択肢。「将来のこと」「部活のこと」「社会のこと」は中学生、17歳のみの選択肢。「職場や仕事のこと」は、17歳のみの選択肢。

何でも話せる友だちの人数を聞いたところ、小・中・17歳いずれも「5人未満」の割合が最も高く、次いで、「5人以上10人未満」の割合が高くなっています。一方で、「いない」という人の割合も、小・中・17歳で1割前後となっています。

図表 63 何でも話せる友だちの人数



出典) 箕面市子どもの生活実態調査, 平成20年度

② 児童虐待・いじめの状況

本市における「児童虐待の防止等に関する法律」施行後の通告件数を見ると、平成12年度より年々、増加しており、平成20年度には65件となっています。

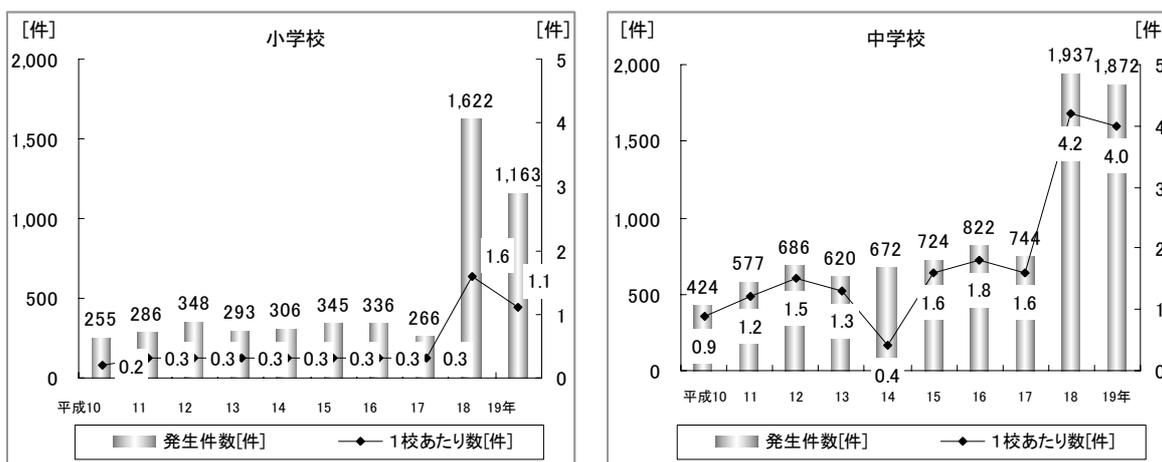
図表 64 虐待通告件数

	平成12	13	14	15	16	17	18	19	20年度
通告件数 [件]	11	14	15	10	34	42	35	62	65

出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

大阪府内の小中学校におけるいじめの発生件数を見ると、平成19年で小学校の発生件数は1,163件、中学校の発生件数は1,872件となっています。1校あたりの数は、小学校1.1件、中学校4.0件と中学校の方が多くなっています。平成10年からの変化を見ると、小学校、中学校ともに、平成18年に「いじめ」の定義が変わったことで発生件数、1校あたりの数が急増していますが、平成19年にかけては減少しています。

図表 65 大阪府内の小中学校におけるいじめの発生件数



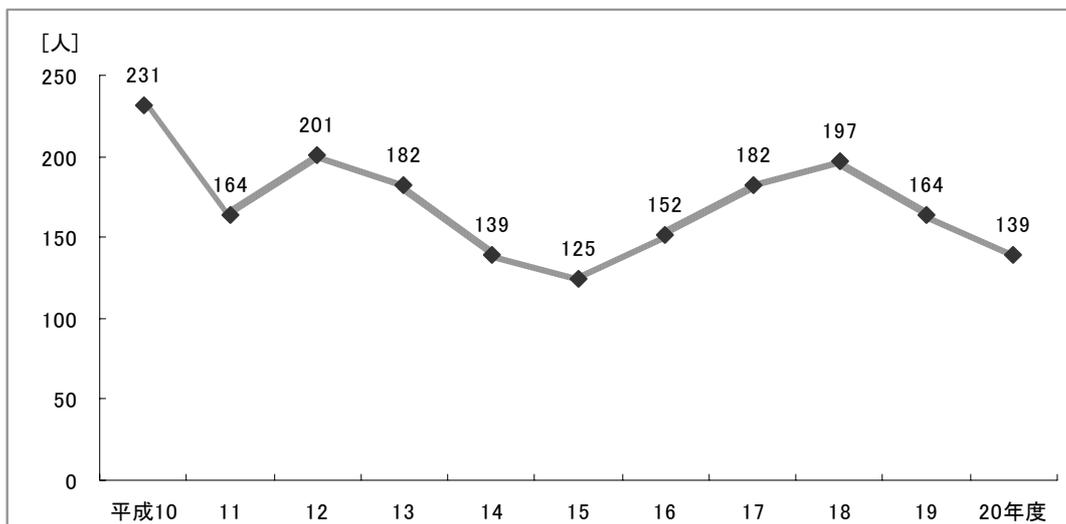
出典) 文部科学省

注) 平成18年度から「いじめ」の定義が変わったことにより、発生件数が増加している。いじめの新定義は、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」

③ 少年の問題行動

平成20年度の本市における刑法犯少年（「刑法」等に触れる行為をした犯罪少年及び触法少年）は139人となっています。平成10年からの変化を見ると、増減を繰り返しているものの、平成18年度以降は減少しています。刑法犯少年の内訳を見ると、窃盗が67.6%と最も多くなっています。

図表 66 刑法犯少年の補導人数の推移



出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

図表 67 刑法犯少年の種別割合

	総数	殺人	強盗	放火	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	横領	わいせつ	その他
人数 [人]	139	-	3	-	-	1	12	-	2	94	2	-	-	25
構成比 [%]	100.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.7	8.6	0.0	1.4	67.6	1.4	0.0	0.0	18.0

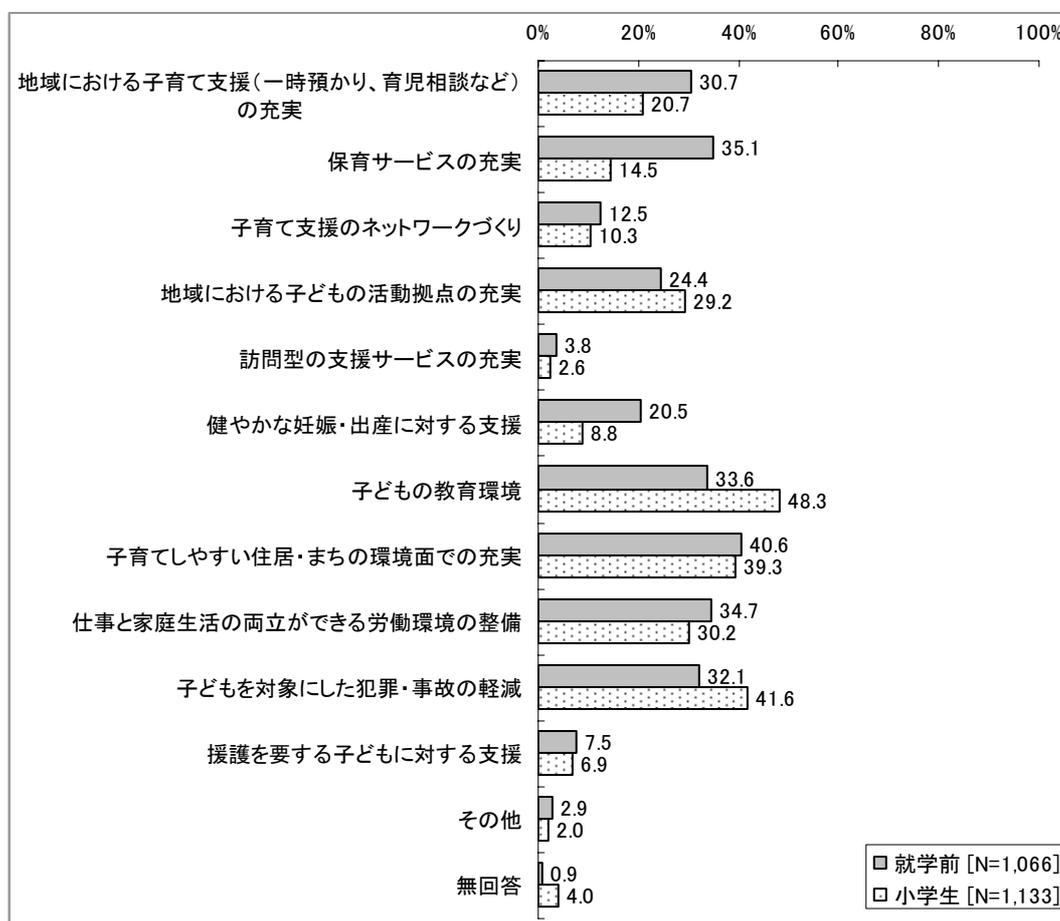
出典) 箕面市;平成21年度市勢年鑑

(6) 子育てについての考え

次世代育成支援調査において、子育てをしやすいするために充実を図るべき子育て支援策を聞いたところ、就学前では、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(40.6%)、「保育サービスの充実」(35.1%)、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(34.7%)の順に高い割合となっています。小学生では、「子どもの教育環境」(48.3%)、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(41.6%)、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」(39.3%)の順に高い割合となっています。

比較的割合の高い子育て支援策について、就学前と小学生で比較すると、住居・まちの環境面、労働環境の整備は就学前と小学生で共通のニーズ、地域における子育て支援、保育サービスは就学前で特に高いニーズ、地域における子どもの活動拠点、教育環境、犯罪・事故の軽減は小学生で特に高いニーズであることが分かります。

図表 68 子育てしやすいするために充実を図るべき子育て支援策



出典) 箕面市次世代育成支援に関するアンケート調査, 平成20年度

2. 施策の内容と所管部署等

(1) 家庭における子育て環境の見直しと地域における子育て環境の整備

① 家庭・地域における子育て・親育ちへの支援

施策名	事業名	所管部署
子育てに関わる相互学習及び情報発信の場の確保	子育てに関わる相談窓口の充実	子ども支援課 教育センター
	子育て支援センターの整備・充実 【目標指標1-(1)】	子ども支援課
	子育てサロンの開催を支援	健康増進課 子ども支援課
	【新規】こんにちは赤ちゃん事業 【目標指標1-(2)】	健康増進課
	地域ぐるみで参加できる行事の開催	子ども支援課
	みのお子育てガイドブックの発行	
	保育所・幼稚園を活用した子育て支援	幼児育成課
子育てサークルへの支援	子育てサークル活動の場の提供・活動支援	子ども支援課 健康増進課
	子育てサークルと親子など、人と人をつなぐ場の提供	
	子育て支援を目的としたボランティアの養成	
家庭教育の重要性の啓発及び情報の提供	親支援プログラムの実施	子ども支援課
	子育てに関わる講座の開催	子ども支援課 菅野中央人権文化センター（らいとびあ21） 生涯学習センター・公民館担当
	家族ぐるみで参加できる子育て子育て親育ち講座の開催	図書館 人権教育課
	父親の参加できる子育てに関わる講座の開催	図書館 人権教育課
	一時保育付き講座の充実等による参加促進	全部局
	乳幼児図書リストの充実	図書館

② ゆとりをもって子育てができる生活環境づくり

施策名	事業名	所管部署
医療費助成	子どもの医療費の公費助成	介護・福祉医療課
就学・就園に関する経済的支援	就学援助制度	学校管理課
	幼稚園保護者補助金の支給	幼児育成課
	各種奨学金貸与制度の充実	学校管理課
住宅と住環境の整備	良質な公的住宅の供給促進	建築住宅課
ゆとりとuringおい空間の整備	安全・安心な道路等の整備	道路課
	良好な都市景観の形成	まちづくり政策課
	山間山麓部の保全・活用	公園課
	公園や親水施設の整備	
	文化財の保護・啓発	文化財保護担当

公共施設の整備	子育てバリアフリー施設への転換	建築住宅課
安全・安心のまちづくり	防犯活動の推進	市民安全政策課 青少年育成担当 青少年指導センター
	地域や関係機関との連携による安全の確保	

③ 子どもの健康づくり

施策名	事業名	所管部署
「食」に関する教育の推進	母子保健事業における食を中心とした健康教室・健康相談の充実【目標指標1-(3)】	健康増進課
	【新規】食に関する学習機会や栄養相談の充実	食育推進課
	保育所や地域での食育に関する啓発	幼児育成課
	小学校での「食」に関する学習	学校教育課
母子の健康づくり	妊婦への健康教室・健康相談等の充実	健康増進課
	乳幼児健診・健康相談の充実	健康増進課
	【新規】母子健康手帳発行時の保健師面接の充実【目標指標1-(4)】	健康増進課
	園児・児童・生徒の健康診断の充実	学校教育課 幼児育成課
	心臓検診の充実	学校教育課
	各種予防接種の推進	健康増進課
口腔内の健康づくりの推進	乳幼児健診での歯科保健相談の充実【目標指標1-(5)】	健康増進課
	保育所・幼稚園での口腔衛生の充実【目標指標1-(5)】	幼児育成課
	各小学校での歯科教育の充実【目標指標1-(5)】	学校教育課
小児医療の充実	豊能広域こども急病センターの充実	健康増進課 市立病院
健康増進と体力の向上	子どもを対象としたスポーツ教室の開催	文化スポーツ課

④ 発達上支援を必要とする子どもの支援

施策名	事業名	所管部署
支援保育・教育・児童デイサービスの充実	療育施設の充実	障害福祉課 市立病院 幼児育成課 総合保健福祉センター分室（あいあい園） 人権教育課
	障害児保育基本方針・障害児保育の手引きに基づく支援保育の充実	
	保育者の専門能力の向上	
	共生保育・教育の推進	
	医療・福祉・就学時の教育機関等との連携	
	【新規】親子教室事業	

発達上支援を必要とする子どもをもつ家庭への支援	支援教育相談の充実	障害福祉課 教育センター 人権教育課
	発達上支援を必要とする子どもの支援の社会資源の確保	障害福祉課
中学生の放課後対策	中学生の放課後対策	障害福祉課
発達障害への対応	発達障害の子どもの支援体制の整備	人権教育課 幼児育成課

⑤ 情報、相談体制の整備

施策名	事業名	所管部署
子育てや子どもに関する情報の発信	子育てや子どもに関する情報の収集・提供	子ども支援課
	子どもの活動・イベント情報の収集・提供	
	子育て支援センターからの情報誌の発行	
インターネットの活用	ホームページの作成とその活用による情報発信	全部局
子育てや教育、子どもに関する相談業務の充実と関係機関の連携強化	方法や時間など相談体制の充実	市民サービス政策課 子ども支援課 青少年育成担当
	専門職員の配置と職員の資質向上	子ども家庭相談課 青少年指導センター
	連携体制の強化とネットワークづくり	健康増進課 障害福祉課 学校教育課
	専門機関との協力体制づくり	教育センター 菅野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）
	適切な機関が対応する相談体制の整備	
児童虐待防止対策の充実	民生委員・児童委員、子ども家庭センター等関係機関、地域との連携強化	生活福祉課 子ども家庭相談課
	通告義務制度の周知及び啓発	学校教育課
	早期発見・早期対応への取り組みの強化	教育センター
第三者機関設置の検討	第三者機関設置の検討	男女協働参画課 人権国際課

⑥ 教育コミュニティの形成

施策名	事業名	所管部署
コミュニティセンターの活性化	コミュニティセンターにおける三世代交流事業への支援	文化・市民活動促進課
学校、幼稚園・保育所施設を利用した身近な子育て交流	子育て講座、育児相談等を実施することにより、身近で集まり、相談できる場として利用	子ども支援課
	子育てサロンの開催を支援	健康増進課
地域教育コミュニティの活性化・充実	地域教育活動の支援、充実	学校教育課 青少年育成担当

⑦ 人権文化の推進

施策名	事業名	所管部署
人権に関する啓発活動の充実と学習機会の提供	人権に関する講演会、フォーラム、パネル展示等の実施	人権国際課 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）
	啓発冊子の作成	桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）
	子どもや親子対象の人権に関する講座、教室の開催	人権教育課 生涯学習センター・公民館担当
人権文化センターの充実	人権文化センターの充実	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）
	各種サークル活動の支援	桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）

(2) 保育サービスの量的・質的充実

① 就学前子育て・保育・教育の充実

施策名	事業名	所管部署
保育所や幼稚園における保育、教育の充実	社会の変化に対応した保育・教育の形態や内容の検討	幼児育成課 学校教育課
	自分を大切に、相手を思いやれる心を育む保育、教育の推進	
	保育士、幼稚園教諭等の資質の向上	
保育所・幼稚園・小中学校との連携	保育所・幼稚園間の合同研修や研究会の開催	幼児育成課 学校教育課
	保育所・幼稚園・小中学校の交流や異年齢の中で育つための仕組みづくりの検討	

支援保育・支援教育 児童デイサービスの充実	療育施設の充実（再掲）	幼児育成課 障害福祉課 市立病院 人権教育課
	障害児保育基本方針・障害児保育の手引きに基づく障害児保育の充実	
	保育者の専門能力の向上	
	共生保育・教育の推進	
	医療・福祉・就学時の教育機関等との連携	

② 多様な保育ニーズへの対応

施策名	事業名	所管部署
保育サービスの充実	通常保育事業の充実（認可定員増） 【目標指標2-(2)】	幼児育成課
	一時保育の充実 【目標指標2-(5)】	
	延長保育の充実 【目標指標2-(6)】	
	休日保育事業の実施 【目標指標2-(7)】	
	病後児保育の充実【目標指標2-(8)】	
	ファミリーサポート制度の利用促進	子ども支援課
待機児童対策	長時間保育実施私立幼稚園の施設内での簡易保育所の運営	幼児育成課
	簡易保育施設の活用	
	通常保育事業の充実（認可定員増）（再掲） 【目標指標2-(2)】	
学童期の子育て支援	幼稚園における長時間保育の実施	子ども支援課
	学童保育の充実 【目標指標2-(3),(4)】 学童保育と自由な遊び場開放事業との連携	
子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）の利用促進	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト）の利用促進	

(3) 子育て世代に対する労働環境の整備

① 男女協働参画への取り組み

施策名	事業名	所管部署
男女協働参画社会形成にむけた啓発と学習機会の提供	フォーラム、講座等の実施 【目標指標3-(1)】	男女協働参画課 生涯学習センター・公民館担当
	情報紙の発行	男女協働参画課
女性市民の支援	女性相談（面接・電話）の実施	男女協働参画課

② 子育てと仕事の両立支援

施策名	事業名	所管部署
子育て世代の就労支援	就労に関する相談、助言、指導	商工観光課
	求人情報の提供	
	就職準備講座等の実施	
労働環境の整備	育児休業制度の充実に向けての啓発	
	働き方の見直しへの啓発	

(4) 子どもの遊び場づくり

① 子どもの居場所、活動拠点の整備・充実

施策名	事業名	所管部署
活動の拠点となる施設の整備	フリースペースの確保	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 青少年育成担当
	施設の一室を長期休業期間等に子どもの居場所として開放	生涯学習センター・公民館担当 図書館
各公共施設の管理・運営の充実	子どもの利用促進	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ） 青少年育成担当 文化スポーツ課 図書館
	職員の専門的な資質向上に向けた研修の実施	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ） 青少年育成担当 生涯学習センター・公民館担当 文化スポーツ課 図書館

② 子どもの自由な遊び場づくり

施策名	事業名	所管部署
保育所・幼稚園・学校施設の開放	保育所・幼稚園の園庭・プール開放の充実	幼児育成課
	自由な遊び場開放事業の充実 【目標指標4】	子ども支援課
公園の整備	地域ニーズに合った整備と協働による管理運営	公園課

(5) 子どもの文化的・社会的活動の支援

① 子どもの自然・文化・スポーツ活動の推進

施策名	事業名	所管部署
自然体験機会の充実	自然体験プログラムの提供	青少年育成担当 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）
	教学の森青少年野外活動センターの充実 【目標指標5-（2）】	
	自然に親しみを感じられる野外活動、自然体験機会の充実	
芸術作品を鑑賞する機会の拡大	芸術鑑賞の機会を提供する事業の実施	人権国際課
子どもが文化活動を発表する場の確保	青少年文化祭の開催	青少年育成担当 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）
	ブラスフェスティバルの開催	
	子どもの自主的運営による発表の場の開催とその支援	
地域文化、スポーツクラブの育成	学校施設などを利用した文化・スポーツクラブ活動の機会の提供	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ） 学校教育課 学校管理課 文化スポーツ課 生涯学習センター・公民館担当
	地域スポーツクラブの育成	
身近でスポーツのできる環境の創造	ジュニアスポーツ教室の開催 【目標指標5-（3）】	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 文化スポーツ課
	スポーツ教室、スポーツのつどいの充実	
	市民体育大会におけるジュニア世代の参加機会の拡大	
子どもの体験や遊びの創造支援	子ども向け事業の充実	萱野中央人権文化センター（らいとびあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ） 青少年育成担当 生涯学習センター・公民館担当 図書館
	地域が実施する子ども向けイベント等の情報提供	
	子どもの自主的な活動の支援	

② 子どもの社会体験・活動の推進

施策名	事業名	所管部署
安全・環境学習の充実	幼児交通安全クラブリーダー会の活動の支援	幼児育成課
	「学校の杜」の整備事業の充実	環境政策課
	箕面市地球環境保全行動計画子ども版普及啓発事業の充実	
	環境衛生、省資源・再資源の推進	環境整備課

国際感覚を身につける講座などの実施	国際理解、多文化共生等をテーマとした講座等の開催	人権国際課 菅野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ） 生涯学習センター・公民館担当
福祉体験学習、ボランティア教育の充実	ボランティアセンターの充実	生活福祉課
	学校での出前講座	
	福祉施設の見学	
地域ボランティア活動の充実	ボランティアサークルの育成・活動支援	菅野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 生活福祉課
	ボランティア啓発イベントの開催	
安心してボランティア活動ができる環境の整備	ボランティア情報の提供	生活福祉課
	みのおボランティアセンターだよりの発行	
社会体験機会の充実	子どもが社会体験できる場や機会の提供 【目標指標5-(1)】	全部局

③ 子どもの社会参加の促進

施策名	事業名	所管部署
身近な活動への意見の反映	子どもの日常的な活動の中での意見を取り入れる	菅野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 生涯学習センター・公民館担当
子どもの意見表明の場の確保	ワークショップなどの開催	青少年育成担当
	青少年弁論大会の開催	
発達上支援を必要とする子どもを対象とした学習、体験の場の整備	発達上支援を必要とする子どもの各種事業参加の促進	全部局
	バリアフリースポーツ教室	文化スポーツ課
	様々な経験ができる場を市民との協働により提供	菅野中央人権文化センター（らいとぴあ21）・ 生涯学習センター・公民館担当 文化・市民活動促進課 図書館
発達上支援を必要とする子どものサポート体制の充実	市民が発達上支援を必要とする子どもをサポートするための各種方策の検討整備	障害福祉課

④ 青少年団体、青少年関係団体の活動支援

施策名	事業名	所管部署
子どもの自主的な活動団体への支援	青少年吹奏楽団活動への支援	青少年育成担当
	こども会活動の支援	
	ボーイスカウト・ガールスカウト活動の支援	
	その他子どものサークル活動等への支援	桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）
子どもに関わる団体への活動支援	青少年を守る会活動の支援	青少年育成担当
	P T A活動との連携	生涯学習センター・公民館担当
	子育てサークル・子育てサロン等への支援	健康増進課 子ども支援課
	社会教育活動主催者賠償責任保険制度の運営	青少年育成担当
	社会教育団体補助金の交付	生涯学習課
	各団体開催事業への後援	全部局
リーダークラブ、ジュニアリーダークラブの充実	子どもの自主的な活動を企画段階から支援するリーダークラブ派遣事業の充実	青少年育成担当
リーダーの養成と確保	様々な知識や活動を指導できる地域の人材の確保	教育センター 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）
	青少年指導者養成事業の実施	青少年育成担当 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）

⑤ 子どもの読書活動の推進

施策名	事業名	所管部署
乳幼児期における読書環境の整備	乳児期や児童を対象とした本の紹介冊子等の配布・読み聞かせ	図書館 健康増進課 学校教育課 子ども支援課
	「はじめてのおはなし会」「おはなし会」等の行事の実施	図書館
学齢期の読書環境の整備	学校と学校図書館における読書活動の推進	学校教育課 図書館
	箕面・世界子どもの本アカデミー賞選定事業	学校教育課
図書館における読書活動の推進	図書館に親しむための行事の実施 【目標指標5-(4)】	図書館

(6) 教育の充実と開かれた学校づくり

① 学校教育の充実

施策名	事業名	所管部署
生きる力の育成	習熟度別少人数指導の実施 【目標指標6-(2)】	学校教育課
	教育内容の厳選と、ゆとりある教育活動の展開	
	自ら学び、自ら考える力の育成	
特色ある学校づくり	子どもの興味を引き出せるような教科や学校行事の創意工夫	
	特色ある教育課程の編成	
体験学習の充実	自然体験やボランティア体験などの様々な体験のできる魅力ある授業の展開	
	地域の人々と協働による体験学習の推進	
	様々な知識や活動を指導できる人材の確保	
情報教育の推進	情報活動能力の育成 【目標指標6-(1)】	

② 地域に開かれた学校づくり

施策名	事業名	所管部署
開かれた学校づくり	地域の人々から考え方や生き方を学ぶ授業の実施	学校教育課
	地域に出かけて学ぶ機会の充実	
	地域に対する学校運営に関する情報の公開	
	学校の自己評価の実施	
学校協議会の拡充	家庭・地域の協力を得た、地域に開かれた学校運営の実施	

③ 心の教育の充実

施策名	事業名	所管部署
スクールカウンセラーの活用	スクールカウンセラーの配置	学校教育課
道徳教育の充実	年間指導計画の充実と道徳教育補助教材の作成と活用	学校教育課 教育センター
教育・医療支援システム会議、教育問題調整委員会の運営	医療的な観点からの指導の充実	学校教育課
	教育問題調整委員会の運営	
保護者の子育て能力と教職員の相談能力向上の支援	教職員研修や心の教育講演会の開催	教育センター
教育相談の充実	専門職員・ボランティアの配置 【目標指標6-(3),(4)】	
	教育相談機関の機能充実【目標指標6-(3),(4)】	
	教育相談関係機関の連携【目標指標6-(3),(4)】	
	適応指導教室の充実【目標指標6-(3),(4)】	

④ 人権教育の推進

施策名	事業名	所管部署
人権教育の推進	人権教育推進活動における情報誌を中心とした情報の受発信の充実と人権教育カリキュラムの作成支援	人権教育課
	すべての子どもの自立、自己実現や豊かな人間関係づくりを育む教育内容の充実	学校教育課 人権教育課
日本語指導支援事業の充実	日本語教室の実施	人権教育課
	通訳体制の充実	
障害のある子どもの教育体制の充実	エレベーター設置等による施設改修	学校管理課
	障害のある子どもが共に学ぶ機会の拡充と支援	人権教育課

⑤ 次代の親の育成

施策名	事業名	所管部署
思春期の子どもへの支援	子どもの思春期相談	学校教育課 教育センター・ 青少年指導センター 健康増進課
	性に関する正しい知識の教育	
	喫煙、薬物等に関する教育	
男女共生教育の推進	男女共生教育の推進	人権教育課 教育センター
次代の親の育成	子育てや家庭の大切さについての教育	学校教育課 教育センター

(7) 健全育成と自立支援

① 自立への支援

施策名	事業名	所管部署
進路相談の実施	学習・進路相談の実施	萱野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）
就労のための支援	ハローワークとの連携	商工観光課
	能力開発講座の実施	
自立した社会人の育成	進路指導・追指導・キャリア教育の充実	学校教育課

② 問題行動の予防と早期発見・早期対応

施策名	事業名	所管部署
啓発活動の推進	非行防止に向けての啓発活動の充実	青少年指導センター
相談業務の充実	問題行動に関する相談窓口の周知・啓発	
	相談業務の量的・質的な充実	
補導活動の強化	家庭・学校・地域の連携による補導活動の強化	
	青少年補導員の活動充実	
連絡調整機能の強化	早期発見・対応のため関係機関の相互連携の強化	学校教育課 教育センター 青少年指導センター
被害を受けた子どものケア	教育相談・学校訪問の実施・スクールカウンセラーによる相談	
	【新規】スクールソーシャルワーカーの活用	

③ 非行防止・安全確保に向けた市民運動の推進

施策名	事業名	所管部署
市民運動の推進	社会を明るくする運動の充実	生活福祉課
	有害環境浄化に向けた市民の自覚や事業者のモラルの高揚などを啓発する市民活動の推進支援	青少年育成担当 青少年指導センター
市民を主体とした巡回活動の推進	防犯パトロールやPTA活動による地域の人々の主体的な巡回活動の支援	青少年育成担当 青少年指導センター
こども110番の設置	こども110番の設置事業の充実 【目標指標7】	青少年育成担当 青少年指導センター
各種講習会の開催	子どもの暴力防止プログラム講習会の実施	学校教育課

(8) 世代をつなぐ生涯学習・交流の促進

① 地域における生涯学習・交流の促進

施策名	事業名	所管部署
地域における 生涯学習・交流活動の支援	コミュニティセンターにおける三世代交流事業への支援	文化・市民活動促進課
	生涯学習、地域活動の充実	生涯学習センター・公民館担当 萱野中央人権文化センター（らいとぴあ21） 桜ヶ丘人権文化センター（ヒューマンズプラザ）
	世代間交流スポーツ大会の開催	文化スポーツ課
地域・伝統行事への参加促進	歴史・文化の伝承や体験講座等の開催	生涯学習課
関係機関との連携による生涯学習の機会の提供	包括協定締結の大学等関係機関との連携による、世代をつなぐ交流の場、生涯学習の機会の提供	文化・市民活動促進課 生涯学習センター・公民館担当

② 地域福祉活動における多世代交流の促進

施策名	事業名	所管部署
地域福祉活動の促進	地域福祉活動における世代間交流の促進	生活福祉課